

平成 28 年「地域福祉推進の拠点に関するあり方」
について地域支援活動者・ボランティアを中心とした
地域福祉の現状と課題調査

アンケート調査報告書

社会福祉法人 黒部市社会福祉協議会

1 アンケート調査目的

黒部市社会福祉協議会は、福祉大会の決議事項重点 3 項目の一つである「地域福祉推進の場づくりと拠点整備」について、地域福祉推進のために多様な団体や地域住民が集い話し合いのできる場づくり及び、福祉・医療・介護・予防・住まい・生活支援が連携できる機能的な拠点についてのあり方を検討するために「地域福祉推進の拠点に関するあり方検討委員会」を設置した。

この調査では、求められる新しい拠点のあり方の検討を進めるにあたって、現在市内の地区単位で活動する地域支援活動者やボランティア団体の会員、個人を対象に、アンケート調査を行い現在の地域福祉の現状と課題を整理分析することが目的である。

2 調査実施期間

平成 28 年 2 月 29 日～5 月 23 日

3 アンケート調査

(1) アンケート調査 1,066 件

『誰もが安心して暮らせるやさしい福祉のまちづくり』の実現に向けて「地域福祉推進の拠点に関するあり方検討」に関するアンケート調査
対象：地域福祉活動者を中心とした調査

- 市内 16 地区自治振興会・地区社会福祉協議会を通じた地域住民
- 黒部市内ボランティアグループ 60 団体
- 社会福祉協議会主催事業参加者
- 地域活動関係者など

4 アンケート調査方法

方 法：黒部市地区社会福祉協議会経由で取りまとめ依頼（16 地区）
市内ボランティア団体へ送付（60 団体）し、本会へ返送
研修会参加者、会議、イベント等での呼びかけ

回 収：回収団体—55 団体・施設
回収数—1,066 枚

5 調査結果まとめ

(1) 住まい

・市内全地区の住民から回答を得た。三日市からの回答が20%と一番多かった。

(2) 性別

・女性が78%、男性が19%で、男女比は8：2、女性が多く男性が少なかった。

(3) 年齢

・20代から80代まで幅広い年代の回答を得た。60代が32%で一番、次が70代で28%、次いで30代の15%だった。10代、10歳未満からの回答は得られなかった。

(4) 職種

・主婦が33%と一番多く、次に無職が23%と、仕事をしていない人が56%を占めた。次いで会社員が20%だった。

(5) 普段の移動交通手段

・自動車が圧倒的に多く84%を占めた。次いで、自転車、徒歩と続く。電車やバス・タクシーの公共交通手段は少なかった。

(6) 黒部市福祉センターを知っている

・87%が知っていると答え、そのうち58%が来館したことがあると答えた。

(7) 黒部市社会福祉協議会を知っている

・81%が知っていると答え、そのうち38%が事務所に来たことがある。

・62%は黒部市社会福祉協議会を知っているが事務所に来たことがない。

・知っている事業は、「黒部市福祉センター」が一番多く、次に「広報誌福祉くろべの発行」、次いで「赤い羽根共同募金」だった。

・「ファミリーサービス事業」「各種団体事務」「総合相談センター事業」「災害時要援護者地図情報事業」は、知っている人が少なかった。

(8) 地域ボランティア活動について

・61%が参加し、そのうち町内会活動が39%と一番多く、次が自治振興会の27%だった。・活動内容は、町内会などの地縁組織や、公民館活動や体育協会などの公的な活動が多かった。

・活動の拠点は、公民館が最も多く、次に高齢者福祉施設、保育施設、病院などの公的な場所が多かった。

・活動している人の52%が満足し、人との出会いや交流、地域や自己

の向上、役立っているという実感が満足感につながっている。一方で、34%がどちらとも言えないと回答し、経験不足からくる不安や、時間や役割への負担感や不満、もっと活動したいが様々な理由で実現できていないことなどが背景に見られる。

- ・困っていることについては、活動内容のマンネリ化や、対象者や仲間との人間関係、活動と仕事の関係などが伺える。

- ・ボランティア団体やNPO法人への所属や活動については、35%が行い、そのうち61%が満足していると答え、地域ボランティア活動より高いという結果になった。活動内容や時間に納得し、無理のない範囲で楽しみながら活動している様子が伺える。活動費が少ない、活動の拠点がないことに困っているという回答が見られた。

(9) 普段の生活での困りごとについて

- ・困りごとがあると回答したのは8%のみだった。内容は、天候や季節に左右されない子どもの遊び場の不足、病児保育・学童保育・夜間保育の不足、子育てへの不安、交通の不便さ、近所や町内の付き合いの煩わしさ、低収入、病気や老化などで起こる身体の不自由さ（判断力や体力、聴力などあらゆる面の衰え）など。

- ・一方、これからの不安、心配なことがあると回答したのは25%であり、現在の困りごとより多かった。内容は、健康や親の介護のほか、自動車の運転や買い物、家の管理などの将来の暮らし方、年金などの収入と医療費や介護費用などの支出、子どもの防犯、地域で頼る人がいない、町内活動の衰退など。

(10) 今後、力を入れていくべき、又は現在、支援が不足していると思う分野について

- ・「介護」が一番多く、次に「高齢者」、「子育て」と続く。

(11) 今後、力を入れていくべき、又は現在、支援が不足していると思う世代について

- ・「80代」が一番多く、次に「70代」、次いで「0～5歳」となった。

- ・70代以上の高齢者と幼児に回答が集まった。

アンケートフォーマット

『誰もが安心して暮らせるやさしい福祉のまちづくり』の実現に向けて

「地域福祉推進の拠点に関するあり方検討」に関するアンケート調査

黒部市社会福祉協議会では、「誰もが安心して暮らせるやさしい福祉のまちづくり」を目指し、そのための福祉活動を推進していく「人」を育てること、活動を促す「しくみ・場・拠点」を整備していくこと、活動を支える「資金」を確保していくことを重点項目として掲げています。

この度は、これからの黒部市の地域福祉（＝黒部のしあわせ）を推進していくために必要な「しくみ・場・拠点」づくりについて、市民の皆様の意見を反映し、そのあり方について検討していきます。

つきましては、アンケート調査にご協力いただきますようよろしくお願いいたします。

※該当するものに○印をつけてください

1 お住まい

- 1) 黒部市内（生地・石田・田家・村椿・大布施・三日市・前沢・荻生
若栗・東布施・宇奈月・内山・音沢・愛本・下立・浦山）
2) 黒部市外（魚津市・入善町・朝日町・滑川市・その他〔 〕）

2 性 別 男 ・ 女

- 3 年 齢 10才未満・10代・20代・30代・40代
50代・60代・70代・80代・90才以上

- 4 職 種 会社員・主婦・自営業・農業・学生・アルバイト
フリーター・無職・その他〔 〕

5 普段の移動交通手段

徒歩・自転車・自動車・バイク・タクシー・バス
電車（新幹線・あいの風・地鉄）・その他〔 〕

6 黒部市福祉センターを知っている（はい・いいえ）

★「はい」とお答えになった方にお聞きします

（来館したことがある・あることを知っている・名前は知っている）

⇒次のページへお進みください

7 黒部市社会福祉協議会を知っている (はい・いいえ)

★「はい」とお答えになった方にお聞きします

(事務所に来たことがある ・ あることを知っている ・ 名前は知っている)

★協議会の行う事業で知っていること

(※当てはまるものすべてに○印をお願いします)

- ・ 黒部市福祉センター
- ・ 黒部市宇奈月老人福祉センターの運営
- ・ 黒部市東部地域包括支援センターの運営
- ・ ボランティアセンター
- ・ 黒部善意銀行
- ・ 黒部市共同募金委員会
- ・ 赤い羽根共同募金
- ・ ホームヘルプセンター
- ・ ケアセンター
- ・ 総合相談センター事業
- ・ 地域総合福祉活動推進事業
- ・ ケアネット活動
- ・ 災害時要援護者地図情報事業
- ・ 見守りネットワーク事業
- ・ みまもり体制事業
- ・ ヤンバイ映画館事業
- ・ 日常生活自立支援事業
- ・ 生活福祉資金貸付事業
- ・ 生活困窮者自立支援事業
- ・ ファミリーサービス事業
- ・ 日常生活用具貸出事業
- ・ 各種団体事務
- ・ 広報誌「福祉くろべ」の発行
- ・ 災害マニュアルの発行

8 地域活動やボランティア活動について

(1) 地域活動に参加している (はい・いいえ) ⇒ 「いいえ」の方は(2)へ

★「はい」とお答えの方 地区自治会・町内会・その他 []

★活動の拠点(会議や作業の場所)は、どこですか []

★活動について満足している (はい・いいえ・どちらとも言えない)

理由は []

★活動について困っていることがある (はい・いいえ・どちらとも言えない)

理由は []

(2) ボランティア団体への所属やボランティア(NPO 法人を含む)活動を行っている

(はい・いいえ) ⇒ 「いいえ」の方は9へ

★「はい」とお答えの方 (団体名: 活動内容:)

★活動の拠点(会議や作業の場所)は、どこですか []

★活動について満足している (はい・いいえ・どちらとも言えない)

理由は []

★活動について困っていることがある (はい・いいえ・どちらとも言えない)

理由は []

⇒次のページへお進みください

9 普段の生活での困りごとについて

(1) 日常生活で困っていることがある (はい ・ いいえ ・ どちらとも言えない)

★「はい」とお答えの方
どのようなことですか

[]

(2) これからの不安、心配なことがありますか (はい ・ いいえ ・ どちらとも言えない)

★「はい」とお答えの方
どのようなことですか

[]

10 今後、力を入れていくべき、又は現在、支援が不足していると思う分野について

(※当てはまると思うものすべてに○印をお願いします)

- ・ 医療 ・ 福祉 ・ 介護 ・ 高齢者 ・ 子育て ・ 障がい ・ 生活困窮者 ・ 生活支援
- ・ ご近所トラブル ・ 予防 ・ 住まい ・ 就労 ・ 不登校 ・ ひきこもり ・ ニート
- ・ 健康 ・ 生きがい ・ ボランティア ・ 移住者 ・ 外国人 ・ その他 []

11 今後、力を入れていくべき、又は現在、支援が不足していると思う世代について

(※当てはまると思うものすべてに○印をお願いします)

- ・ 0～5歳 ・ 6歳～12歳 ・ 13歳～15歳 ・ 16歳～18歳 ・ 18歳～20歳
- ・ 20代 ・ 30代 ・ 40代 ・ 50代 ・ 60代 ・ 70代 ・ 80代 ・ 90代以上
- ・ その他 []

12 市全体として求められる地域福祉活動推進の拠点として

(※当てはまると思うものすべてに○印をお願いします)

(1) 必要な場(スペース)は

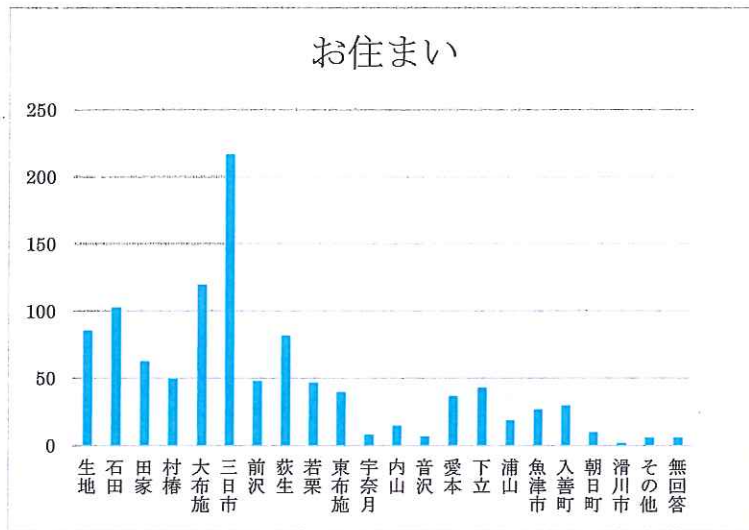
- ・ 会議室 ・ 研修室 ・ 相談室 ・ サロン ・ お風呂 ・ 休憩所 ・ 集い場
- ・ 団体活動スペース ・ キッズスペース ・ ボランティアルーム ・ 食堂 ・ 売店
- ・ 運動場 ・ その他 []

(2) 必要な機能は

- ・ 総合相談の場 ・ 団体事務局 ・ ボランティア市民活動支援 ・ 予防健康推進の場
- ・ 生きがいの場 ・ 研修の場

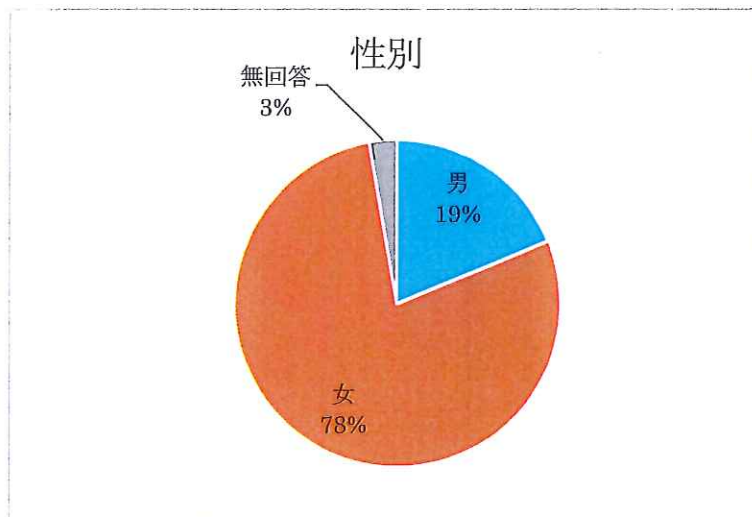
アンケート結果報告書

1 お住まい



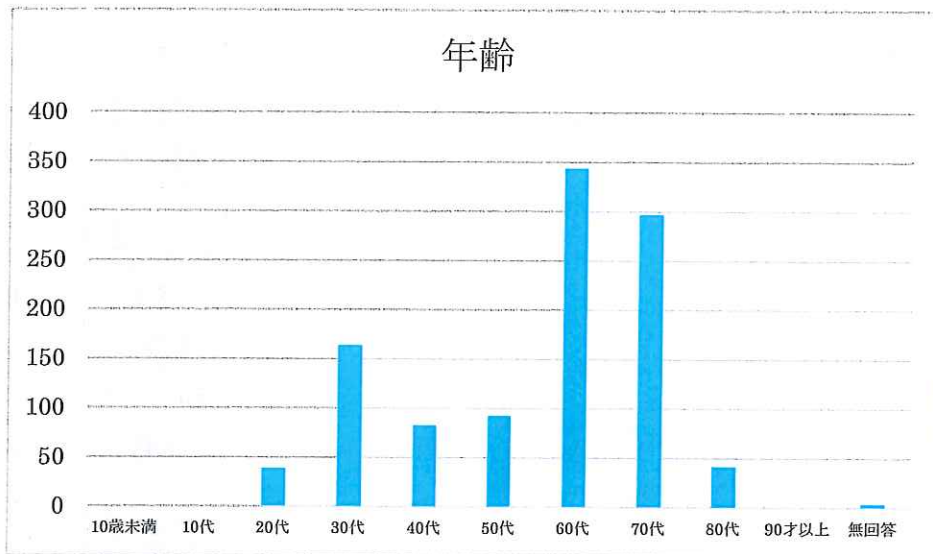
生地	86	内山	15
石田	103	音沢	7
田家	63	愛本	37
村椿	50	下立	43
大布施	120	浦山	19
三日市	217	魚津市	27
前沢	48	入善町	30
荻生	82	朝日町	10
若栗	47	滑川市	2
東布施	40	その他	6
宇奈月	8	無回答	6
		合計	1066

2 性別



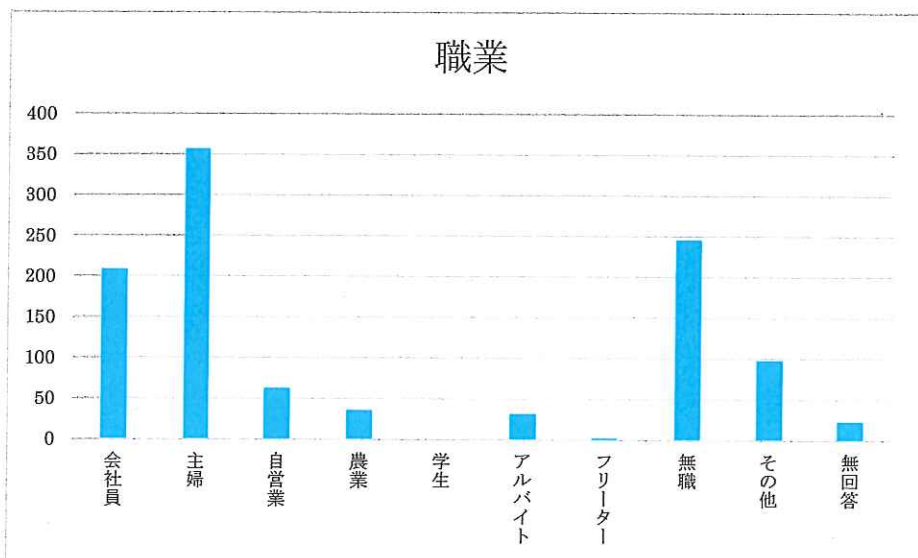
男	200
女	836
無回答	30
合計	1066

3 年齢



10歳未満	0
10代	0
20代	39
30代	164
40代	83
50代	93
60代	344
70代	297
80代	42
90才以上	0
無回答	4
合計	1066

4 職種

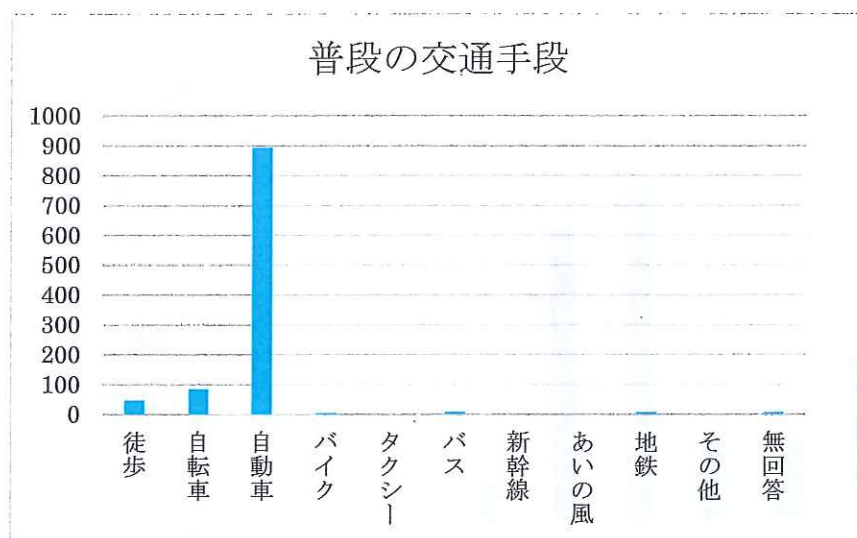


会社員	209
主婦	357
自営業	63
農業	36
学生	0
アルバイト	32
フリーター	2
無職	246
その他	98
無回答	23
合計	1066

《その他》

団体職員・介護職・パート・ヘルパー・公務員・専門職・保育士・社会福祉・看護師・嘱託職員・法人職員

5 普段の移動交通手段

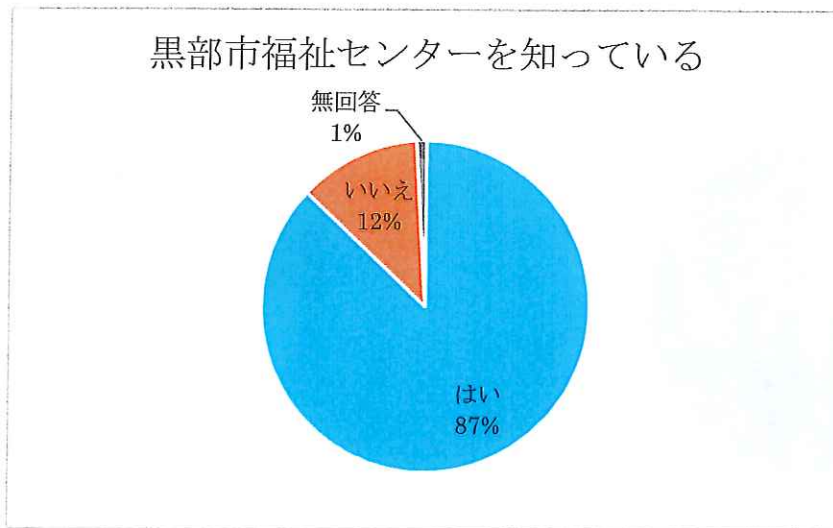


徒歩	48
自転車	86
自動車	895
バイク	5
タクシー	3
バス	8
新幹線	0
あいの風	3
地鉄	8
その他	3
無回答	7
合計	1066

《その他》

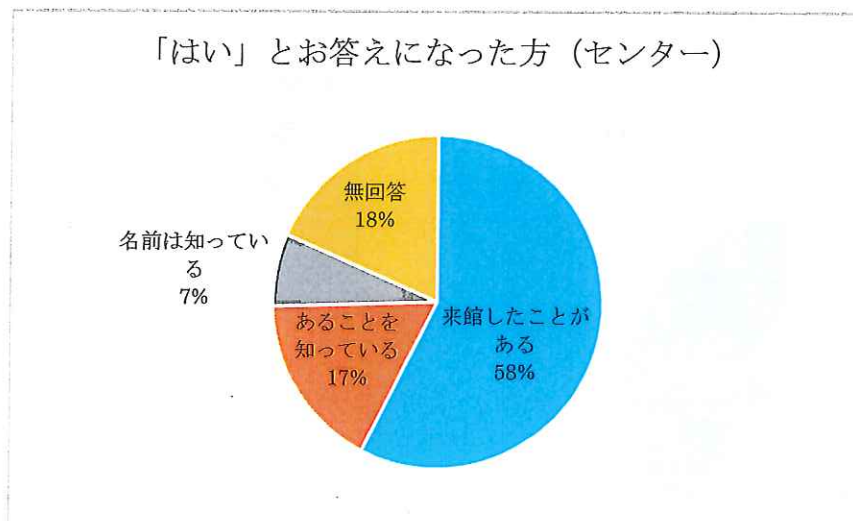
相乗り

6 黒部市福祉センターを知っている



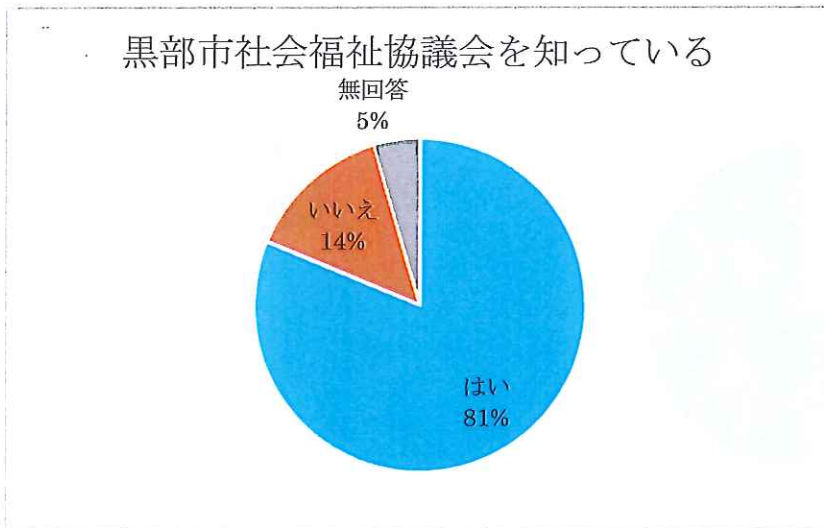
はい	927
いいえ	129
無回答	10
合計	1066

★「はい」とお答えになった方にお聞きします



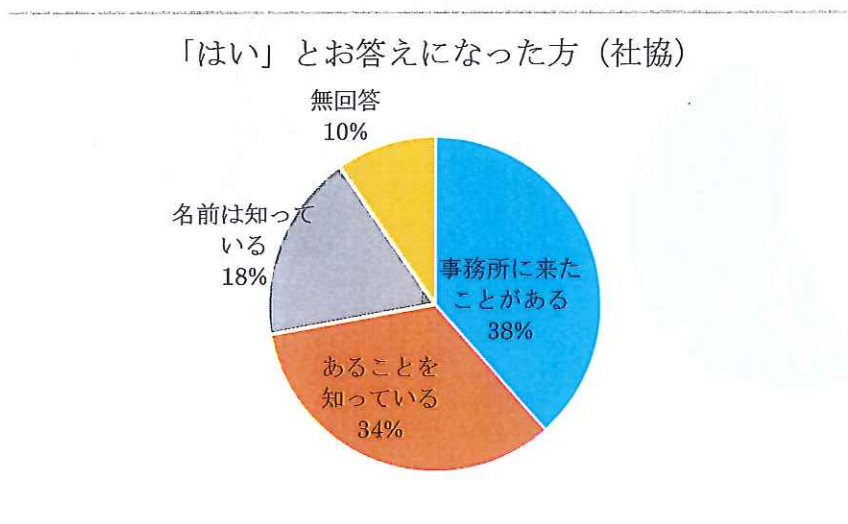
来館したことがある	533
あることを知っている	158
名前を知っている	65
無回答	171
合計	927

7 黒部市社会福祉協議会を知っている



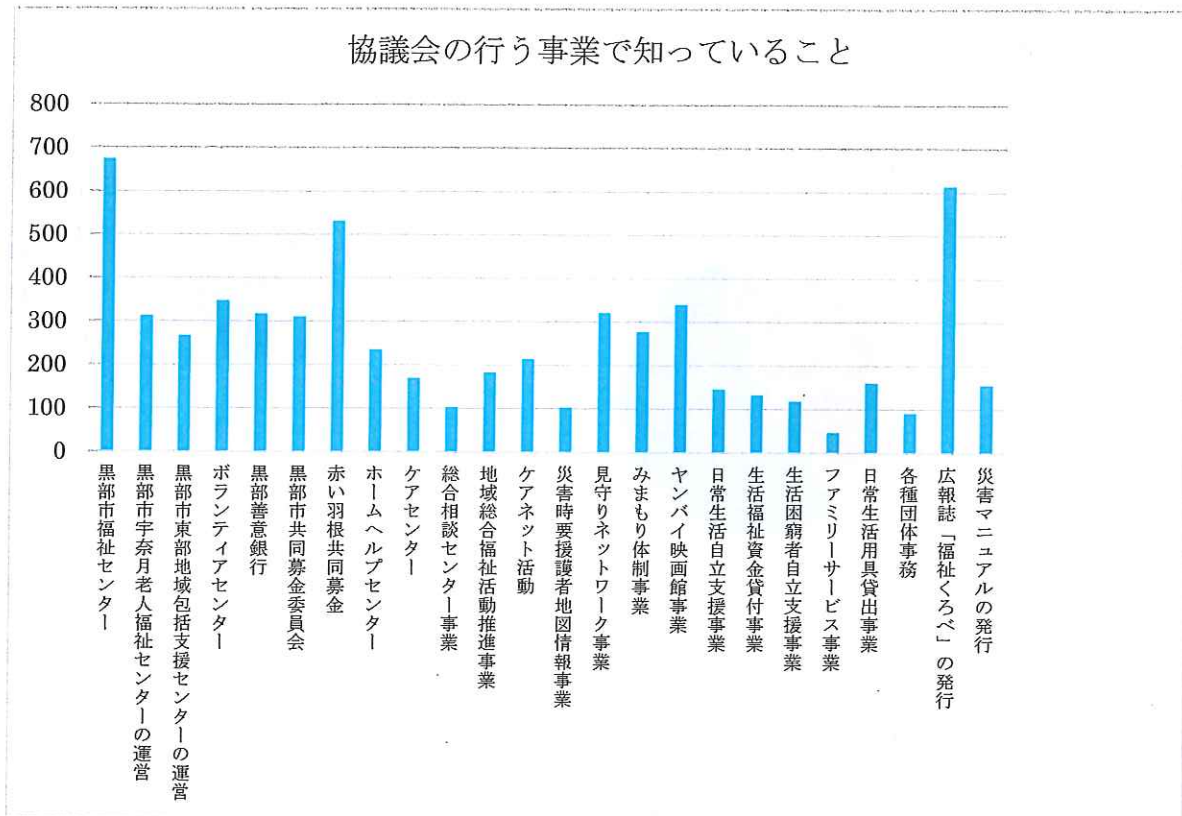
はい	866
いいえ	152
無回答	48
合計	1066

★「はい」とお答えになった方にお聞きします



事務所に来たことがある	333
あることを知っている	292
名前は知っている	157
無回答	84
合計	866

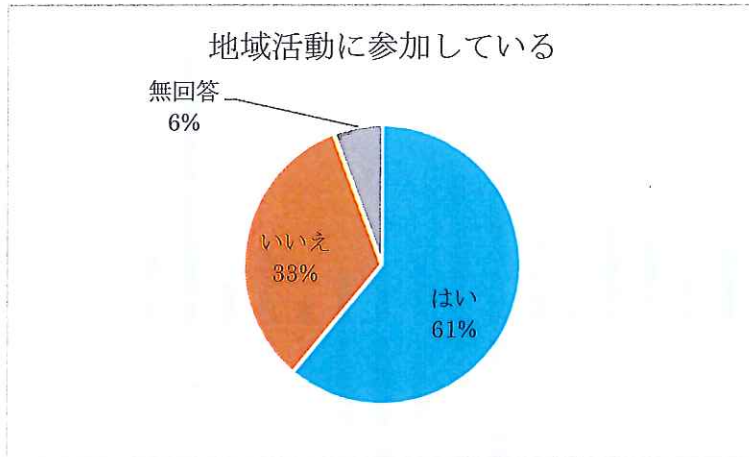
★協議会の行う事業で知っている事



黒部市福祉センター	黒部市宇奈月老人福祉センターの運営	黒部市東部地域包括支援センターの運営	ボランティアセンター	黒部善意銀行	黒部市共同募金委員会
674	313	267	348	317	311
赤い羽根共同募金	ホームヘルプセンター	ケアセンター	総合相談センター事業	地域総合福祉活動推進事業	ケアネット活動
531	235	170	103	183	214
災害時要援護者地図情報事業	見守りネットワーク事業	みまもり体制事業	ヤンバイ映画館事業	日常生活自立支援事業	生活福祉資金貸付事業
103	321	277	340	146	133
生活困窮者自立支援事業	ファミリーサービス事業	日常生活用具貸出事業	各種団体事務	広報誌「福祉くろべ」の発行	災害マニュアルの発行
119	47	161	91	614	156

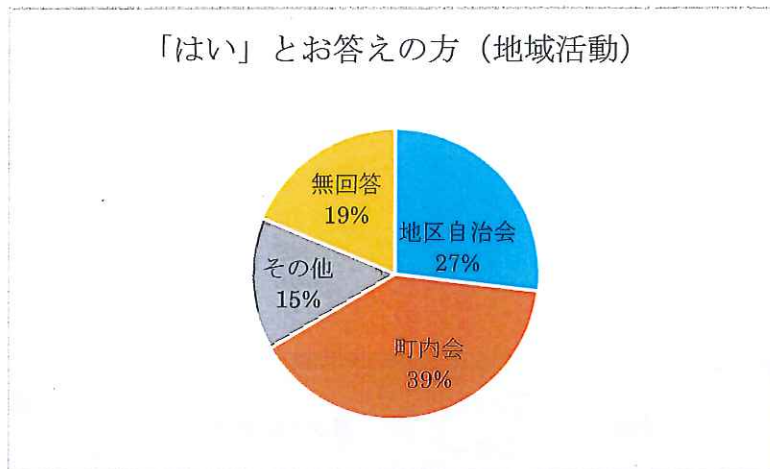
8 地域ボランティア活動について

(1) 地域活動に参加している



はい	651
いいえ	354
無回答	61
合計	1066

★「はい」とお答えの方



地区自治会	175
町内会	258
その他	96
無回答	122
合計	651

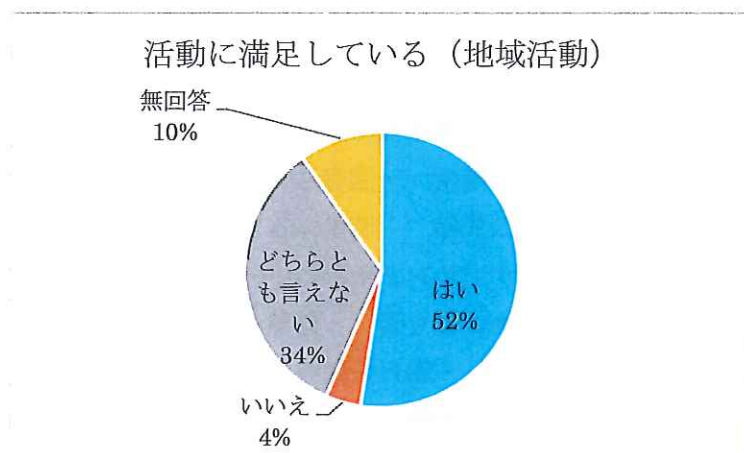
《その他》

- ・健康増進課（脳活くらぶ） ・地区社協 ・まち協 ・保育所 ・PTA ・スポーツ
- ・民生委員 ・老人会 ・奉仕作業 ・まち歩き ・読み聞かせ ・ケアネット活動
- ・町内壮年団 ・生産組合 ・女性団体 ・公民館活動 ・体育協会シニアサポーター
- ・更女 ・見守隊 ・潮風 ・JA女性部 ・壮年会 ・森づくりクラブ ・女性の会
- ・日赤奉仕団 ・JC ・体育協会 ・地区児童会

★活動の拠点（会議や作業の場所）はどこですか

- ・きんさんぎんさん ・黒部市老人福祉センター ・おらはうす宇奈月 ・JA
- ・ちょうろく（魚津） ・ひだまり（高岡） ・川原保育園（魚津市） ・内山とちの里
- ・黒瀬 ・荻生の館 ・大黒のやかた ・朝日町 ・カラーレ ・黒部市民病院 ・越之湖
- ・石田交流プラザ ・郷土館 ・栃屋公園 ・愛本交流館 ・下立まちおこしセンター
- ・越野荘 ・越路さくら ・自宅 ・商工会議所 ・図書館 ・入善町各介護施設
- ・新川厚生センター ・親水の館 ・山田公民館 ・若埜ふれあいセンター 石田交流館
- ・にいかわ支援センター ・黒部学園 ・サンサンまえざわ ・金屋集落センター ・JC 会館
- ・浦山交流センター ・あこやーの ・生地こども園 ・保健センター
- ・内山公民館 ・石田公民館 ・音沢公民館 ・新天公民館 ・田家公民館 ・三日市公民館
- ・中央公民館 ・中ノ口公民館 ・植木東区公民館 ・宇奈月公民館 ・若栗公民館
- ・前沢公民館 ・三島公民館 ・前山公民館 ・中新公民館 ・六天公民館 ・堀切公民館

★活動について満足している



はい	341
いいえ	27
どちらとも言えない	219
無回答	64
合計	651

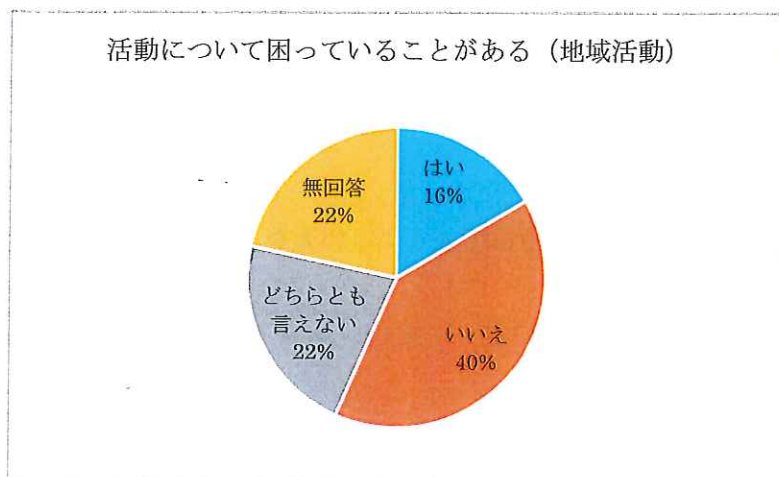
《理由》

- ・自分が住んでいる地区に関しては、定期的な活動・回覧・声掛け等、とても充実していると感じている。
- ・活動が盛んである。
- ・年齢層を越えた地域の方々との交流がある。
- ・駅前美化運動ボランティアは、自慢できます。
- ・地区の人達の協力が得られる。施設、設備が整っている。
- ・近所の方々と顔見知りになれる。
- ・参加者数もまあまあの人数である。
- ・地域の方と交流できるので。
- ・行事を通して、話をしたり、地域のことを知る事が出来る。
- ・親が興味のあるイベントに安心して参加できる。
- ・楽しいから。
- ・利用される方が喜んでいました。
- ・役に立たせていただいていると感じている。
- ・自分の都合に合わせて参加・不参加を決めさせてもらっている。
- ・良いと思う。
- ・誰かのためになる事、だれかが喜んでくれることをしているから。
- ・自分が少しでも役立っていることがうれしい。
- ・概ね満足。
- ・仲良く活動している。
- ・たまに地域みんなで顔を合わせるのはいいこと。
- ・町内会の人達と会話できる機会なので。
- ・いろいろ勉強させてもらえる。
- ・充実してます。

- ・出来る範囲でと思っている。
- ・メンバーの都合が悪いときは、他の方がやって下さる。
- ・子供たちの笑顔が見れる。
- ・老若男女が集う事業が多い。
- ・年1～2回の行事だが、参加できて満足している。
- ・活動を共にする仲間がいるから。
- ・人を感じ、即反応があり自分が生き返るように思う。
- ・ボケ防止になる。
- ・少しは社会参加していると感じる。
- ・相手の満足のいく傾聴ができていないか不安。
- ・マンネリ化している事業を活性化したい。
- ・もう少し広めたいと思ってます。
- ・活動日数が多く負担が大きい。
- ・今年1月～のため、まだわからない。
- ・無理やり役員にならざるを得ない。
- ・子供が小さく、参加しにくい。
- ・人手不足
- ・多様な意見があるから。
- ・公民館使用时、サービスにおいて行政の規則が多い。
- ・会員が少ない。
- ・介護人がいる。
- ・若者が少ない。
- ・ズレを感じております。
- ・毎年同じことを繰り返しているが、改善すべき部分は新しく見直すといいのでは。
- ・本当にやりきれているかという不安。
- ・まとめるのが大変。
- ・活動をもう少し多くして欲しい。
- ・思っているほど協力できていない。
- ・参加することが少ないので。
- ・役員やその家族の負担が大きく気が重い。
- ・どんどんやりたい事が出てくるので、満足感が得られないだけ。
- ・協力する気があるけれど、年をとってるという理由で入りにくい人をどうしていけば良いか困っている。
- ・行事が決まってもなかなか参加できない
- ・自分が高齢になり、会長におんぶにだっここのところがある。
- ・自分はまあまあと思っても受けている人はどうかわからない。
- ・その年の予算によって活動が変化する
- ・なかなか日中協力できない。

- ・責任上参加している
- ・みまもり員の任期があるのか、いつまですればいいのかわからない。
- ・福祉活動が定着していない、地域性なのか興味のある人が少ない。
- ・事業が多くなってきている。
- ・なかなかやめられない。
- ・退職してから参加したので、気遣いが必要。
- ・ひきこもりがちな高齢者にもっと参加して欲しい。
- ・必要な時に必要な手が届いていない。
- ・子供が多いのにお祭りなどの行事がほとんどない。

★活動について困っていることがある



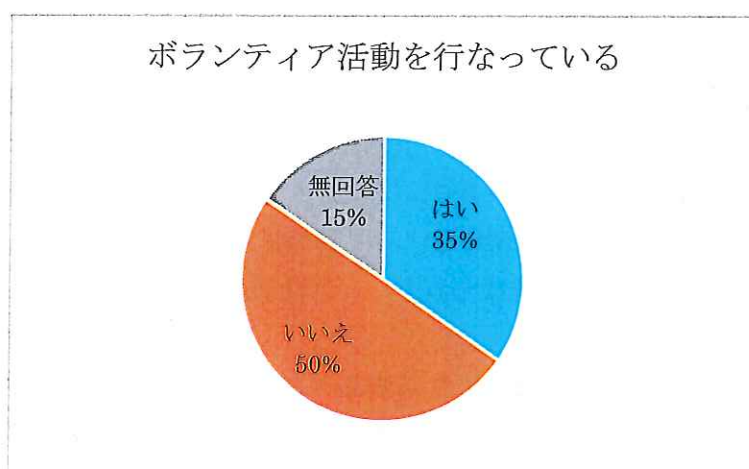
はい	107
いいえ	262
どちらとも言えない	141
無回答	141
合計	651

《理由》

- ・参加者が少ない。
- ・時間がない。
- ・パートをしながらの活動には限界がある。
- ・生活に時間的な余裕がない。
- ・都市部から移ってきた人等、場合によってはひょっとすると密接なコミュニケーションに違和感を覚えるかも、と感じることもある。
- ・壮年会活動の誘いがすごい。打ち上げなど、断れない時もある。
- ・子供の数が少なく、役員の順番が早い。
- ・参加の人は毎年参加、不参加の人はずっと不参加。これで良いのだろうか。
- ・仕事の都合でやりくりがむずかしい。
- ・夜遅くまでお子さんをお預かりするときに負担がかからないかと心配な時がある。
- ・行政の計画事案では行事をやりにくい。
- ・高齢化による活動困難
- ・町内(大布施)の神社の境内に犬のフンを放置していく人がいる。
- ・活動のマンネリ化・独居の人が増えてきた。
- ・世話をやきすぎると、迷惑になることもあると思う。
- ・若者が少ない。
- ・会議がたくさんある。
- ・認識の差があり、共通認識を持つ大切さが理解されず今一つの現状です。
- ・届け物や案内事があっても応答がない。電話にも出られないので気になる。
- ・男の方が参加されない。
- ・自営業なので、平日の活動がしにくい。
- ・仕事で時々当直があるので、思うように活動できない。
- ・当地区に転居してからまだ7～8年で、地区の人達の顔と名前に疎い。

- ・個人情報の扱いについて。
- ・大布施地区民生児童委員の守備範囲が大きすぎてなかなか細かいところまで行き届かない。
- ・要見守り者が9割女性なので立ち入った話が出来ない。(男性の方)
- ・お盆休み等には参加できない。
- ・役員となると大変。
- ・後任がいない。
- ・協力する気があるけれど、年をとってるという理由で入りにくい人をどうしていけば良いか困っている。
- ・高齢者が活動に出るのを遠慮される。「出席したいが、年齢がいつているのに良いのか」と言われる。
- ・輪がなかなか広がらない。
- ・自分の体調が悪い。
- ・人間関係が大変。
- ・生業の時間と重なる。
- ・どんなことをしているのか知らない。
- ・ボランティア組織がない。
- ・助成金が少ない。
- ・市の下請け作業が年々増えている。
- ・続いてくれるひとを探すのに一生懸命。
- ・ボランティアに関わりたい気持ちがある。
- ・行事参加の勧誘が嫌。
- ・地区に拠点となるボランティアセンターが必要。
- ・認知度が低い。

(2) ボランティア団体への所属やボランティア（NPO法人を含む）活動を行っている。



はい	369
いいえ	531
無回答	166
合計	1066

★「はい」とお答えの方

《団体名》

- ・なでしこ ・こごみの会 ・公益社団法人顔と心と体研究会 ・食改 ・日本語教室 in 黒部
- ・社協老人会 ・一斉雪かきデー ・はーとぼっぼの会 ・高橋川を愛する会
- ・社会福祉法人あいじ福社会 ・太陽の会 ・つむぎの会 ・わかばの会 ・民生委員
- ・すまいる・スマイル ・市民病院ボランティア ・三日市健朗会 ・大町ケアネット
- ・アクティブ Kurobe ・松桜閣保勝会 ・更生保護女性会 ・コーラスHANA
- ・新川地区精神保健福祉推進協議会 ・黒部脳トレクラブ ・黒部おもちゃ病院
- ・KU スポーツクラブ will ・消防分団 ・高山舞部研究会・黒部リーディンググループ
- ・阿古谷野クラブ ・みまもり隊 ・振興会パトロール隊 ・さくらえパトロール
- ・潮風センター ・しばんば保存会 ・石田赤十字奉仕団 ・松乃会 ・ほのぼのの会
- ・交通安全協会 ・たんぼぼ ・富山グラウジーズスタッフ
- ・内山地区社会福祉協議会 ・愛本地区社会福祉協議会 ・三日市地区社会福祉協議会
- ・下立地区社会福祉協議会
- ・三日市地区ボランティア部会 ・村椿地区ボランティア部会 ・石田地区ボランティア部会
- ・大布施地区ボランティア部会 ・生地地区ボランティア部会 ・若栗地区ボランティア部会
- ・荻生地区ボランティア部会 ・田家地区ボランティア部会

《活動内容》

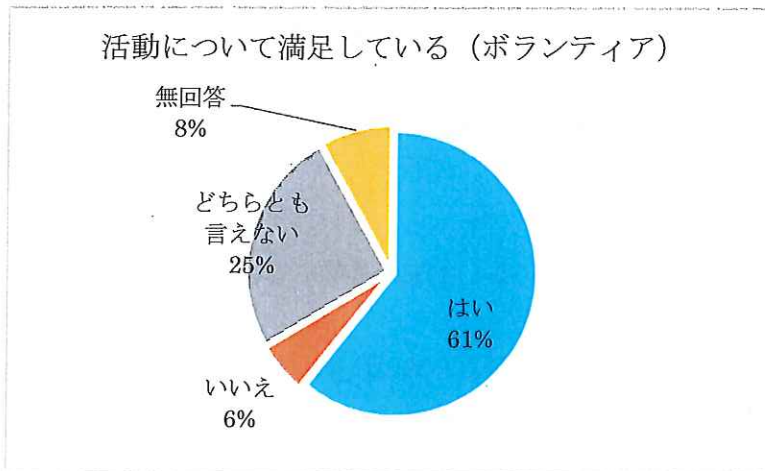
- ・公民館・社協とタイアップ事業 ・メイクボランティア ・男の料理教室 ・公民館まつり
- ・子育て支援 ・日本語サポーター ・シニアサポーター ・24H募金活動 ・草刈り
- ・出前保育 ・保育ボランティア ・市民病院ボランティア ・行事での手伝い
- ・おどりを踊る ・ひとり暮らしの方のサポート ・みまもり活動 ・おはぎづくり
- ・社会福祉活動 ・シルバーランチ ・ふれあい会合 ・シーツ交換 ・ケアネット活動

- ・絵本の読みきかせ ・要約筆記通訳 ・傾聴ボランティア ・独居弁当作り
- ・おたっしやクラブ ・1人暮らしの配食サービス ・月一回保育所のお手伝い
- ・黒部マラソン ・子供達の運動教室 ・松桜閣の清掃 ・舌山駅の清掃 ・施設支援
- ・講演会 ・シルバー談話室 ・さくらえサロン ・ふれあいランチ ・老人ホームへの慰問
- ・おもちゃの修理 ・青少年ボランティア活動 ・青少年育成会議 ・買い物の付添
- ・施設のイベント協力 ・火災・災害への対応、予防啓発活動 ・視覚障害者への音訳
- ・広報、議会だより ・森や歩道の整備 ・防犯パトロール ・母子健康推進委員
- ・食生活改善 ・伝達講習会 ・非常時の炊き出し ・障害児、老人の福祉 ・もちつき大会
- ・赤い羽根共同募金 ・石鹸作り ・観光まち歩き ・会場運営

★活動の拠点（会議や作業の場所）はどこですか

- ・たかせ小学校 ・田家保育所 ・親水の館 ・若栗ふれあいセンター ・松桜閣 ・JC 会館
- ・生地コミュニティーセンター ・新川厚生センター ・勤労青少年センター
- ・東部児童センター ・宇奈月温泉 ・消防屯所 ・宇奈月温泉街 ・黒部市福祉センター
- ・農村研修館 ・あこやの ・阿古屋野台地 ・保健センター ・黒部市役所
- ・石田交流館 ・特別養護老人ホーム ・魚津市立図書館 ・東布施公民館
- ・生地公民館 ・中央公民館 ・富山県全域

★活動について満足している



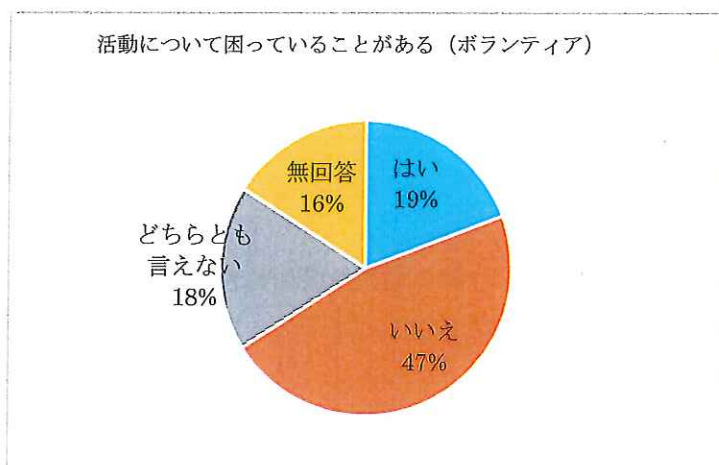
はい	225
いいえ	21
どちらとも言えない	94
無回答	30
合計	370

《理由》

- ・なじんでいるから。
- ・みんなが楽しんでいるから。
- ・親が興味のあるイベントに安心して参加できる。
- ・無理のない協力を許してもらっている。
- ・活動する人達の主体性が尊重され、活動内容も相手に寄り添っていると思います。
- ・月1回必ず公民館で会合のお世話をしている。
- ・喜んでもらっていると思います。
- ・子供や若いお母さんと触れ合えて嬉しい。
- ・出来る範囲でいいと思っている。
- ・お年寄りの方、いつも楽しみに行事を待っておられる。
- ・いろんな事を通して勉強させてもらえるので。
- ・活動に多数参加している。
- ・友達が増えた。地区の事がわかった。
- ・みんなが無理なく活動に参加できるから。
- ・自分のための活動だから。
- ・町内の対象者（75歳以上）に呼びかけて、各テーマを掲げ軽体操、認知症予防ゲーム・バランスの良い昼食を提供している。
- ・活動スペースがある
- ・施設の概要がわかる。
- ・自分もいつか御世話にならないといけないのかなと思うと、元気なうちに楽しくボランティアさせてもらっている。
- ・富山県内で活動を広めたいと思っているが、まだ県内3施設しか活動できてないので。

- ・今は名前だけの参加です。
- ・あまり参加していないので。
- ・協力できる回数が少ない。
- ・高齢者のみにサービスしている（サービスしすぎ）高齢者もできることがあるはず。共に活動することを目指すという感じが無い。
- ・三日市地区のボランティアはおたっしやクラブの運営しかないように見える。
- ・もっと協力する人が増えるといい。
- ・活動資金がもっとあればうれしい
- ・センターのボランティアルームが物置化している、本来の目的が忘れられてるのでは。
- ・無理してやっている。
- ・日本語教室は専門家が行なうべきなのにボランティアが代わりにしているため負担が大きい。しかし、地域には日本語が出来ないために困っている外国人がたくさんいる。

★活動について困っていることがある



はい	71
いいえ	173
どちらとも言えない	67
無回答	59
合計	370

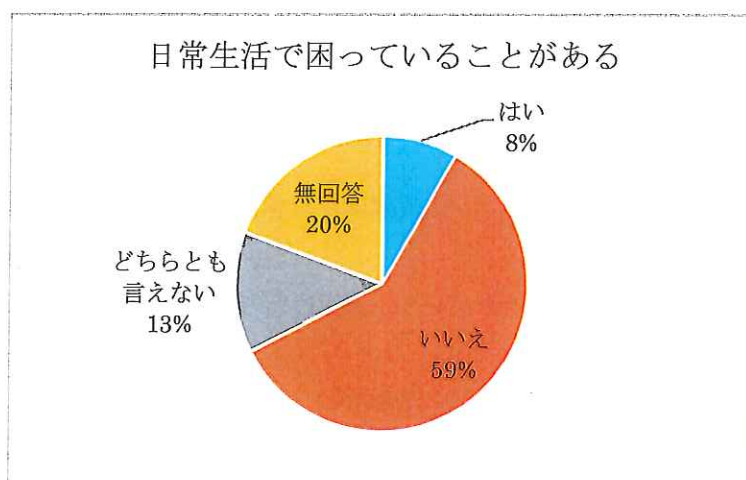
《理由》

- ・活動メンバーを増やす。
- ・活動内容の情報発信
- ・活動資金
- ・運営面のメンバーそれぞれの気持ち。
- ・30代40代の方のボランティア活動への参加が少ない。
- ・夜遅くまでお子さんをお預かりするときに負担がかからないかと心配な時がある。
- ・足が不自由だから。
- ・活動員の意見をもっとすいあげて欲しい。
- ・若い人、60歳くらいでも入ってもらえない。
- ・参加する会員が減ってきている。
- ・遠い。
- ・会員の高齢化
- ・おたっしやクラブのお世話というよりもクラブ員も一緒になって活動すればよい。
- ・横のつながりの連絡方法 (電話をボランティアに頼っている)
- ・役員のみなり手がいない。
- ・地区の子供達が少ない。
- ・振興会の人達の理解、協力。
- ・採択のテーマが偏りがちになる
- ・補助金が少なくて思うように活動できない
- ・三日市公民館の老朽化で調理室が狭い。
- ・生業と重なり、休まなくてはならない。
- ・体力に限界がある。
- ・防音装置のない場所なので困っている。

- ・視覚障害者の把握が難しい。
- ・デジタル化という目標に向かってグループがひとつになっていない点。
- ・拠点が無い。
- ・子ども達の参加を増やしたい。
- ・NPO?全然わからない。
- ・前日準備時間が夜遅い。
- ・活動について知ってもらうことが難しい。
- ・日本語教室は外国人生活者の支援活動で、今後の地域社会づくりに必須のことなのに、日本語教育専門家の派遣や市、行政のサポートがまだまだ不十分。ボランティアだけが自立してできることではない。
- ・黒部市の国際交流は英語が出来ればよいという雰囲気がある。しかし現実には英語が出来ない地域の外国人の方が多い。その現実を黒部市はわかっていない。地域に住む外国人に本当に必要なのは英語でなく日本語。
- ・施設に向かうのに公共の車を利用できればよい。

9 普段の生活での困りごとについて

(1) 日常生活で困っていることがある



はい	88
いいえ	631
どちらとも言えない	141
無回答	206
合計	1066

★はいとお答えの方

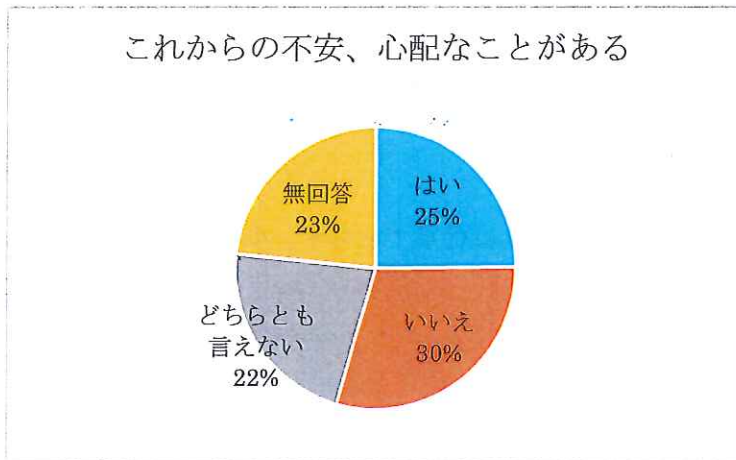
どのようなことですか

- ・転居してきて、子供たちが時間を持て余している時に集まれるような場所がなく、結局家でゲームということになり困っています。(児童センターがあまり機能していない?)
- ・子供がもっと遊べる場所があれば良い。仕事をしながらの子育てに対してもっといろんな補助があれば良い。
- ・日曜日に子供を遊ばせる児童センターのようなところがないこと。雨が降ると困る。
- ・病児保育が不足している。小児科がなくなる(まち医者)ので、魚津まで行かなければならない。
- ・核家族のため、子供の送迎や世話がとても大変。
- ・頼れる人がそばにいない核家族です。子守りをしてくれる人、子育てを少し手伝ってくれる人がいなくて困る。
- ・土曜、日曜に子供を預けるところがない。
- ・家事と子育ての両立、仕事復帰、社会復帰。
- ・共働きなので学童に入っていない子(4年生)の留守番している時間が心配。
- ・学童が午後6時までしかやっていないので、午後8時まで家で1人で待っている。
- ・三日市小、桜井小の学童の受け入れがされず困っている。
- ・学童保育が18時までで両親(私含む)の実家が遠方のため、2人共仕事が遅くなる時の対応方法がない。(学童の延長がほしい)
- ・保育園入園手続き(期限、募集日時など)詳しい話を聞く機会がない。
- ・バスなどがあまり通っていないので、雨や雪が降るとなかなか外出できない。子供がまだ小さく、免許がない私には、自分の地元より生活しずらく感じます。
- ・家の近くの踏切に遮断機がないこと。子供が危ない。

- ・買い物に電車で行くので大変です。(冬場は特に)
- ・買い物に行くところが近くにない。
- ・出かけるときが大変(バス、タクシーのため)
- ・バス・電車の時間が良くない。(もう少し増やして欲しい)
- ・ごみステーションが遠い。冬期期間、資源物の回収を停止している。
- ・冬場雪かきができない。
- ・冬場の雪道運転(融雪道路が少ない)
- ・雪がたくさん降ると除雪が行き届いていない。交通整備が行き届いていない。
- ・近所の付き合い
- ・町内会の行事全てが面倒・苦痛です。ビーチバレー、運動会、祭り、卓球大会…三日市は特に多いように感じます。
- ・仕事をしながら地域の活動(当番)が思うようにできない。
- ・町内活動・役員について矛盾だらけで嫌気がさす。
- ・地区の3世帯家族が少なくなり、地区関係の状況がよくなってきている。地域交流の場所・人材の確保が必要。
- ・地域の方との信頼関係
- ・近所の人が自分の土地(畑)の草取りを全然しない。近所だから言えない。
- ・生活が苦しいです。病気になった時、どこの病院もいつも混んでいて、時間がかかる。
- ・賃貸のアパートの湿気がひどい。
- ・デイサービスを利用することができるのに利用しようとしない高齢者は、どうすれば利用するようになるのか。
耳がきこえにくいので、人の話が聞こえない。職場でのコミュニケーション、近所の人と話ができない。電話が聞こえない。人の声が聞き取りにくい。車内放送が聞こえない。マイクの声が聞こえてないので病院で呼ばれても分からない。医師の声も聞こえにくい。
- ・足が不自由だから。
- ・自分の体力
- ・自分の思うように歩けない。
- ・用水もれ
- ・日中1人だけで家にいる老人
- ・家の管理
- ・空き家が近所にあるので困ってます。
- ・畑に猿がくる。
- ・乗り合いのタクシーの説明が回覧されても使用方法の理解ができない。
- ・土日しか休みがない為、公民館や市役所にいけない。
- ・家の隣が空き家で冬になると屋根雪がトタン屋根から滑り落ち道をふさぎ車が通れなくなる。
- ・バイクのカギを無くして出てこない。
- ・昨年少し体調を崩したとき、近所・友達に助けてもらった。
- ・妻が高齢のため、家事が心配である。(特に障がい者)

- ・白内障になり視力が悪くなり夜の運転は無理、膝が痛くなってきた。
- ・駅がバリアフリーになっていない。
- ・隣近所とのトラブル。
- ・数時間単位での付き添いを仕事として依頼できる事業所がない。
- ・息子の結婚。
- ・駅周辺にスーパーがない。
- ・日中の近所の高齢者の見守り。(日中家族は仕事でおらず、少し認知症が入っているようだ)
- ・除雪車による雪の積み上げ。
- ・相続の金銭処理。
- ・健康診断で身長を測りたくないこと。
- ・母とすぐに喧嘩になる。
- ・児童センターの振り替え休日が平日にあると、子供の居場所がなくて困る。
- ・子供が病気になった時、自分たち以外に助けてもらえる人がそばにいない。
- ・若者が住みにくい。
- ・子供を遊ばせる公園はどこにあるかわからない。
- ・土日に行ける子育て支援センターのような場所がなく、行き場に困る。児童センターは大きい子供が多くて危ないので。

(2) これからの不安、心配なことがありますか



はい	265
いいえ	316
どちらとも言えない	236
無回答	249
合計	1066

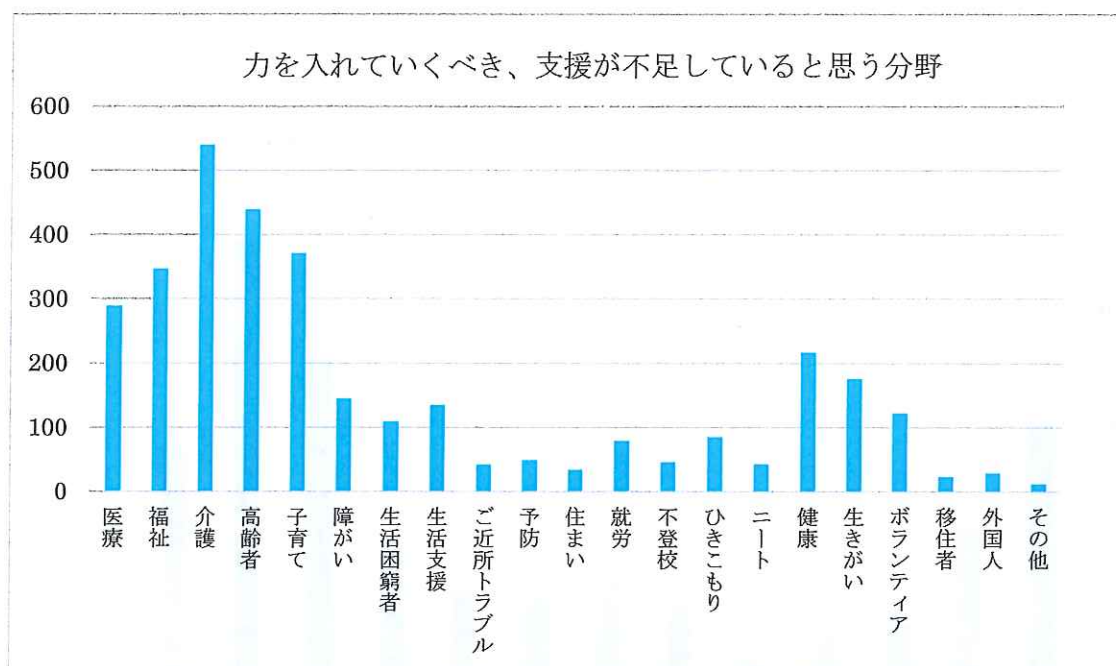
★「はい」とお答えの方
どのようなことですか

- ・子どもが独立して、夫婦2人になり、身体に不都合が出来た時。
- ・義両親の介護が心配。(デイサービスやショートを利用してけれなさそう) 刺激の少ない生活で、認知症にならないか心配。
- ・加齢に伴う健康
- ・今、車の運転ができているがこの先心配。食べ物・衣類他。
- ・一人暮らしですと、何かと心配です。(健康が1番心配)
- ・高齢化の問題。特に一人暮らし。若い人がいなく、家の管理、冬の雪かき、食べ物の買い出しができない。
- ・親の今後(老後のことなど)
- ・自分を始め、近所の人の高齢化や空き家になったり漠然とした不安感があります。
- ・過疎地域に住んでいるため、近い将来近所の高齢者さんを地域にいる若手数人で支えていなくてはならないこと。
- ・周りに子供がいない。若者がいなくて、年寄りばかりでこの先みんなで助け合うには不安。
- ・年金が65歳からもらえるかどうか。
- ・現在両親ともに健康であるが、介護になった場合お金や仕事など色々な面で不安を感じる。
- ・高齢の両親を見ながら、フルタイムで働き続けることができるだろうか。デイサービスなどの相談をどのようにしていけばいいのだろうか。など、介護への不安です。
- ・両親が高齢で子供を見ながら親のことも見て行けるか心配。
- ・老老介護になること。あるいは一方が入院すること。
- ・地域活動が出来なくなるのでは。
- ・認知症になった時
- ・高齢者二人暮らしなので、一人になった時が心配。
- ・高齢者のプライバシーにどこまで踏み込んで良いのか考えることがある。

- ・年を取るにつれて体力に自信がなくなり、健康面での心配が出てきた。(ひざ・股関節・腰等) 予防として、体力維持のために何かあるか。
- ・在宅認知者の生活指導
- ・高齢化、空き家の増加で地域活動、生活が維持できなくなるのでは…と思うと心細い。
- ・高齢者で少し忘れっぽくなっている人の運転を見る事があり怖い。いろんな団体で見守っていると思うが、どこまで踏み込んでいいか判らない。
- ・高齢になった自分達のこと、介護認定受ける前の身体づくりの場があるのか？心配。
- ・今後高齢者が多くなることで医療費、介護費用が多く必要になり、個人の暮らしでの負担もどれくらい増えるだろうか。生活費や介護する側の人足りるのか。自分が介護してもらえかが不安。
- ・小児科がない。(市民病院は午前だけだし、救急に連れて行くと医療費以外のお金をとられるので困ります)
- ・子供が家で待っている時に事故が起きないか。
- ・子育てにお金がかかる。
- ・仕事をしたいが、子供(小学生、未就園児)がいるのでなかなかはじめられない。学童保育など、柔軟に対応して頂ければと思う。現在は正社員として働く方のお子さんと定員がいっぱいになっているイメージ。
- ・子供の学校後の時間の預け先…仕事が遅いので、どうしたらいいのかわからない。仕事を続けて行けるのか、不安。女性の仕事の支援を、その点からして欲しい。
- ・家の近くの踏切に遮断機がないこと。子供が危ない。
- ・また今年も、町内会行事があるのかと思うと、家を建てたことを後悔してしまいます。新居を建てず、ずっとアパート暮らしだと、地域の行事に参加せずに済むから。
- ・主人の給料が上がらなくて心配。住宅手当がなくて困る。同じアパートの家賃が下がらなくて困る。
- ・子供のこと(保育士不足、環境、安全面(交通、登校など))
- ・子供が大きくなる頃にはもっと生活するのに便利になっていけばと思う。
- ・子供の登下校時の防犯
- ・ひきこもり
- ・緊急の場合、電話が聞こえないので困る。病気になったら医師の説明分らない。
- ・地域のつながりがなくなっていくこと。
- ・病気になったら心強くてよる人がいない。
- ・人口の減少、地域の不活性化、画一化。
- ・小学校がなくなり、若い世帯も少なくなり、過疎地に猿と猪が増える地区になりそうで不安。
(保育所がなくならないように希望)
- ・若者の、地域・町内会活動への関心が薄くなってきている。
- ・1億総活動といいながら、また、介護離職ゼロをめざしているが、今、実際には、年寄りを残して就業することは、難しいのが現状である。必要な時にもっと利用しやすくなるようになると良いと思っている。

- ・人口減少により町内会活動が出来なくなる。
- ・高齢者の仲間入りをしたので、地域福祉の説明の場などがあれば良い。
- ・お金のこと。
- ・税金の増加
- ・相続処理
- ・就職したら健康診断があること。
- ・一人暮らしになると固定資産税を払えなくなる。

10 今後、力を入れていくべき、又は現在、支援が不足していると思う分野について

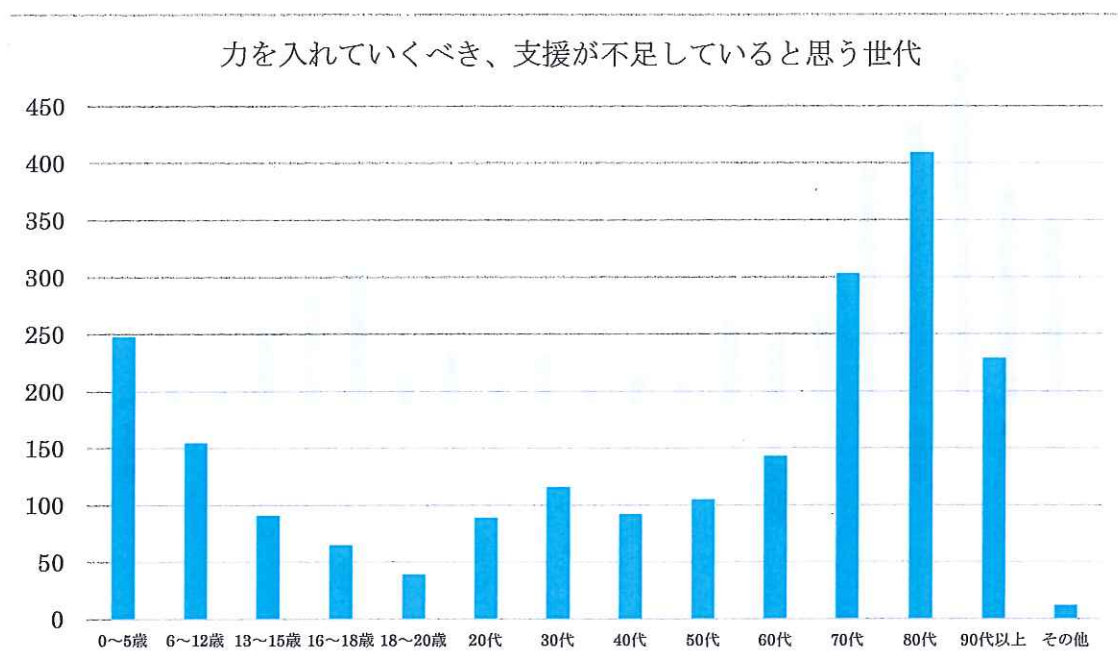


医療	福祉	介護	高齢者	子育て	障がい	生活困窮者
289	347	540	439	371	145	109
生活支援	ご近所トラブル	予防	住まい	就労	不登校	ひきこもり
135	42	49	34	79	46	85
ニート	健康	生きがい	ボランティア	移住者	外国人	その他
43	217	176	122	23	29	12

《その他》

- ・学童保育 ・地域交流・活性化 ・母子・父子家庭 ・少子化 ・婚活
- ・長い老後の人生設計（生きがいを含む） ・移動

1 1 今後、力を入れていくべき、又は現在、支援が不足していると思う世代について



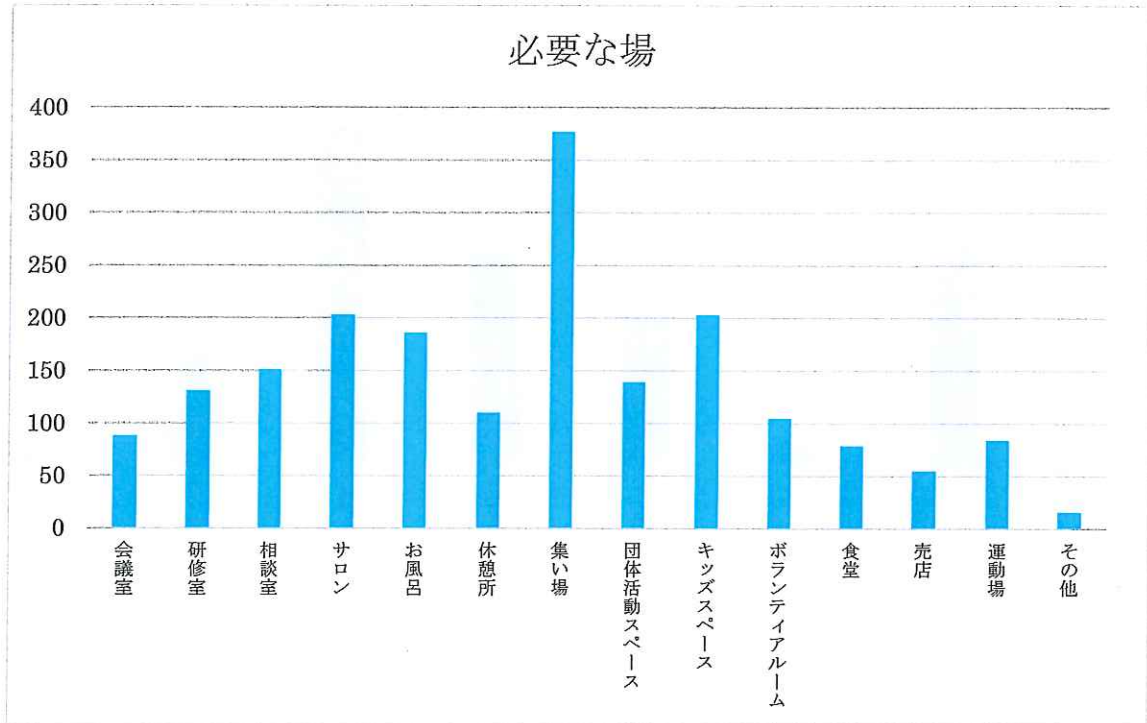
0～5歳	6～12歳	13～15歳	16～18歳	18～20歳	20代	30代
248	155	91	65	39	89	116
40代	50代	60代	70代	80代	90代以上	その他
92	105	143	303	409	229	12

《その他》

- ・ 単身の子と高齢者の世帯 ・ 親世代以上全て ・ 若者 ・ 結婚支援
- ・ どの世代にも支援を求める人がいると思う ・ 世代ではないと思う ・ ひきこもり世代

1.2 市全体として求められる地域活動推進の拠点として

(1) 必要な場（スペース）は

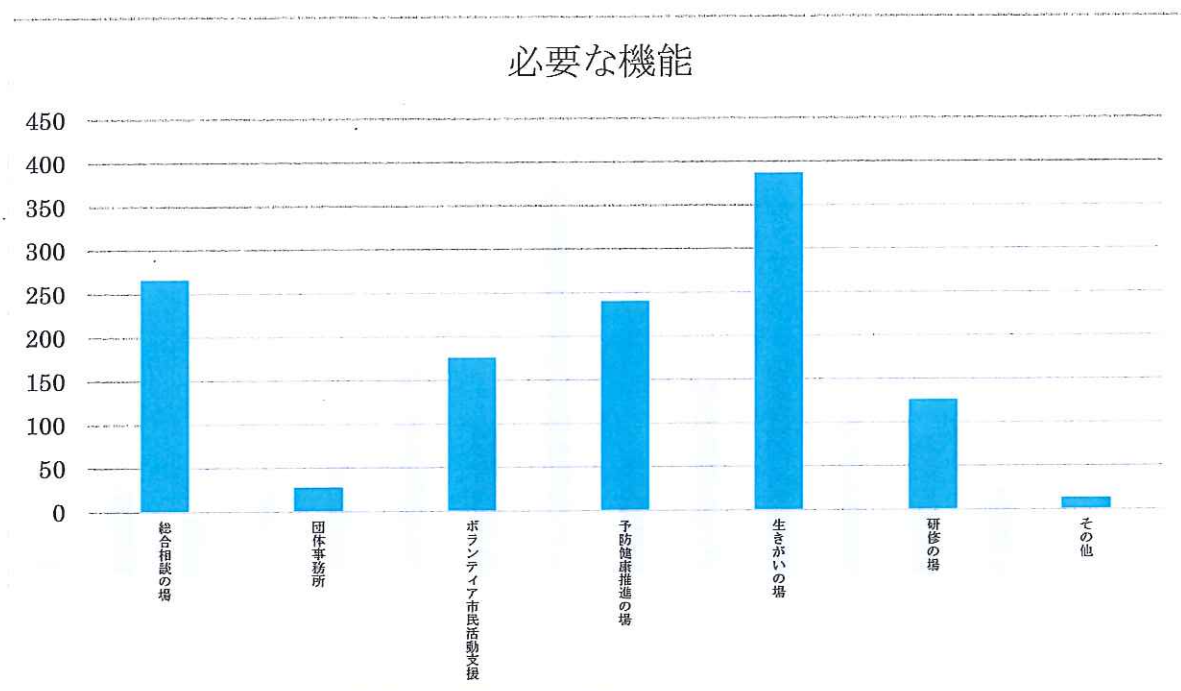


会議室	研修室	相談室	サロン	お風呂	休憩所	集い場
88	131	151	203	186	110	377
団体活動スペース	キッズスペース	ボランティアルーム	食堂	売店	運動場	その他
139	203	105	79	55	84	16

《その他》

- ・学び・趣味を楽しみ向上させる場 ・公園 ・授乳・おむつ替えスペース ・介護福祉施設
- ・図書館 ・病院・医院(特に小児科) ・色々な相談員の配置 ・団体事務所 調理室・
- ・足の都合が悪い人でも参加可能なエレベーター付きの集い場 ・作業スペース
- ・屋根つきの運動場

(2) 必要な機能は



総合相談の場	団体事務所	ボランティア市民活動支援	予防健康推進の場	生きがいの場	研修の場	その他
266	28	176	240	387	126	13

《その他》

- ・子育ての親が集う場
- ・学童保育の延長
- ・相談員の配置
- ・脳トレの場
- ・黒部シルバー人材センターのような手軽にいろんなことが頼めるなんでも屋さん、便利屋さん。
- ・休耕田が多いので市民農園等を提供して趣味の園芸的な指導、そして結果収穫できた喜びの繰り返しで生きがいに繋げる。(農協(OB)の協力が必要かもしれないが…)
- ・一人暮らしの対応
- ・コミュニケーションの場
- ・交通手段(市内くまなくコミュニティーバスが通ったら良い)

1 3 黒部市社会福祉協議会は、「地域福祉の推進を図ることを目的とする団体」としての法的位置づけを基に、市の地域福祉推進の中核団体として役割を果たすために様々な事業を展開していますが、今後、社会福祉協議会に求められる機能や役割、期待することについて自由にご記入ください。

★黒部市社会福祉協議会に求められる機能や役割

- ・行政との役割分担を明確にし、地域福祉に対する実践力、発想力の強化。
- ・地域福祉のセーフティネット機能のさらなる強化。(言葉が先行して活動自体が見づらい見えにくい)
- ・地域と公共施設(保育所、学校等)の交流の場を設けること。そして関わりを育むパイプ役を担ってほしい。
- ・市民の声をまとめ、市民全体の社会を作る。そのために地域の人々をつなげる機能。
- ・市民の意見の吸い上げ。
- ・都市部に限らず昨今では核家族化からの高齢者への関心やケアが昔に比べて希薄になっているように感じるので、そういった方面への拡充が求められるのでは、と思います。
- ・高齢化、核家族化に対するケアの強化。
- ・2025年以降への必要とされる対応をいかにしていくのか、具体的実施案。
- ・介護・医療分野の拡充推進。
- ・長期計画を立て、計画目標を作り、行政に意見を述べられる体制にする。
- ・介護予防の強化と介護者への支援。
- ・地域住民の現状を把握し、きめ細やかな支援をすること。
- ・一人暮らしの支援。
- ・社会福祉の実践が全地域に浸透し、活動の情報が行き渡るようネットワークの充実化。
- ・現状を把握し、計画、実践活動の基として欲しい。
- ・人材情報の蓄積が最もあるのが社協だと思います。それらを分野別に集約し、どのように活かすか、ものすごく楽しく希望のある世界ができてくると思います。
- ・行政との連携が足りない。
- ・高齢化が進む地区は、高齢の人が高齢の人を見守るようになってきている。行政の問題かもしれませんが、若者が定住できるような地域づくりを。
- ・気軽に相談や支援を受けられる人材が不足していると思います。
- ・高齢者・子育て・生きがいを中心にした福祉活動推進事業の充実を図りたい。
- ・今までの社協は、市の委託事業を行っており、地区社協へおろしているところがある。社協から市へ提案し、地区の活性化を図れる独自のパワー事業を展開して欲しい。
- ・立派なボランティア活動をしている地域や地区を勉強するのもいいが、なかなかそうできない地域もあることの対応をどうするかを示せる対策をねれる機能が欲しいですね。
- ・市役所との連携を密にしてムダのない活動を望む。
- ・予算を減らさないでほしい。みんなギリギリのところまで頑張っています。

- ・地域の方々に寄り添った身近な相談場所としての機能。
- ・地区社協と行政をつなぐコーディネーター役。
- ・地域と行政をつなぐ具体的な活動がすすめられる、場、人材をもつ機能がある。
- ・住民の立場に立った福祉政策、将来住民に役立つビジョンの策定と実行。
- ・地区社協、黒部社協から市福祉課になると良いと思います。
- ・地区と地区とのネットワーク。
- ・みんなが気楽に利用できるように。
- ・行政におもねる事なく（予算、人事）独自性をもって機能していく事に徹して欲しい。
- ・取り組み、役割が多岐に渡り、実際の活動内容がわかりにくい。
- ・制服を着ている人を良く見かけるが、何をしているのかがよくわかりません。（スーツだったり、ポロシャツだったり）
- ・社協はお年寄りの支援以外に、子育て関係は何をしていらっしゃるのでしょうか。実態がよくわかりません。
- ・一般の人に協議会の機能、役割どうか聞かれても困る。法的位置づけが有るならその方に基づいて機能、役割をしているか判断して下さい。
- ・利用者を待つのではなく、出向くこと。
- ・協議会自体を周知すること。
- ・どのような年齢でも地域福祉の推進に関心が持てるような発信の工夫・場所の提供など利用を待っただけでなく、自ら求めていくことで、地域により根ざしていけるのではないか。
- ・黒部市社会福祉協議会で決議された事項等の市民への公表をわかりやすくして欲しい。
- ・年代に沿った研修会やサロンの機会に、多数の方々に参加して頂くように広報して頂きたい。
- ・もっと親しみやすい広報活動
- ・経理、人事等、市役所とのかかわりがよく分からないので「福祉くろべ」やネットで少し調べた。沢山の仕事の割には末端への周知が足りないのでは？赤い羽根も拠出金や仕組みについて町内会の仕事をするまで知らなかった。色んな会での説明会等が必要では？
- ・団塊世代が集まれる場の提供と楽しみながら学べる介護教室。
- ・新幹線が通ったりバイパスが開通したりしたことで、外から移住してくる若い世代も増えているのではないかと思います。新旧世帯の諸問題、世代間の問題、年代ごとの問題など、色々な課題を幅広くとらえていただいて、誰でも相談に行ける場所によりなっただきたいです。
- ・世代によって社会福祉協議会との接点が違うので、若い世代は具体的なことを知らない方が多いと思う。より身近に感じられる機会があればいいと思うが、今はわかりません。
- ・子育てしやすい環境づくり。お年寄りが安心して過ごせる環境づくり。
- ・子供やお年寄りが、大事にされる町なら良いと思います。今のままでもいいのでは。
- ・核家族の子育て支援の充実
- ・高齢者の急激な増加に対応する問題、子育て層、両親の勤務が長く忙しすぎる問題。
- ・小さな子供達がいたわる心が育つ様な機会を多くもてる様にしてあげたい。核家族が多いので。
- ・高齢になると移動時の交通をどうすれば良いのか。（自動車が乗れなくなるので）
- ・赤い羽根運動の時、赤い羽根に代わるものはないか。（羽根を拒否する人が多いため）

- ・石田地区はここ数年に銭湯がなくなり、小さなスーパーがなくなり、医療もなく大変不便。高齢者や独居暮らしが増える一方、見守る人も高齢化が進みつつある。ひきこもりを防ぐ意味でも、いこいの場や、サロンのような場所があつて気軽に集いおしゃべりできるスペースがあればいいなと思う。
- ・孤独死の対策として、緊急ブザーの設置。
- ・(ケアマネージャーさんへ) デイサービスの分配はどうなっていますか？不足と聞きましたが、もっと市民の間に入って行ってほしい。
- ・地区サロンの支援、増設。
- ・ひとり暮らし老人のためのコミュニケーション、子育てママ、祖父母たちの集う場所、機会。
- ・高齢者が増えているので介護に携われる人を増やして欲しい。
- ・協議会でどんな良い企画をしても参加しようという意思のない人たちをどう行動に移させるかが問題。
- ・地域の福祉の拠点として、色々な相談や悩みに柔軟に対応できる体制と人員配置を。
- ・高齢化社会に対応するため、それぞれの立場でできることを実行していくように指導・研修を行なってほしい。
- ・活動の範囲が良くわからない。福祉全体に関して相談して良いのだろうか。
- ・各地域の小グループのサロンなどに指導者的立場から気軽に参加し、アドバイスなどして欲しい。
- ・生きがいのある内容を盛り込んでほしい。(特に”町の人”が多い三日市などは何もすることがないという人が多いので考慮して欲しい)
- ・福祉の総合相談窓口
- ・三日市地区の配食サービス、85歳以上の人に配食しており、毎年300食作って届けている。ぜひこれからも地区社協の協力をお願いしたい。
- ・災害時のボランティアセンターの機能をしっかり果たすこと。年1回の訓練では不十分。
- ・活動費が年々カットされているのが残念。でも今の現状では仕方がないことだとも思う。
- ・いつも福祉くろべを楽しく読んでいます。こういったものを通してもっと市民が身近に感じられるようないろんなことを発信して行ってほしい。
- ・福祉協議会としての仕事が見えてこない。事業としてたくさんのが列記されているが、上目線でやられているのではないかと疑問。
- ・ボランティアセンターはどこにあるのかわかりにくい。
- ・地域のアドバイザー役としての機能ももちろんあってほしいのですが、市社協独自で企画運営し、それぞれの地区にあった福祉を導き出して頂きたい。
- ・市役所で行う事業と似ているため、住民は、必要な時にどちらに相談すべきか迷っています。具体例を提示し、利用しやすくすれば良い。
- ・協議会から市運営事業への提言
- ・高齢者への支援(1人住まい、認知症、老々介護等)老人ホームの充実、認知症老人への地域でみまもっていくネットワークシステム構築への中核的役割
- ・ボランティア団体への支援

- ・市のパイプ役を担ってほしい。支援、広報の両面からのサポートが必要である。
- ・間口が広すぎてかえって印象がうすいのではないだろうか、生身の人間が身動きできなくなった時に、力強く支えとなる、あるいは指針となる専門家集団を望みたい。
- ・同じような活動を行っている団体が多い。たとえば見守りとケアネット他、そして同じ人がいつもボランティアに顔を出している。
- ・避難行動調査票に登録しても、万一の時に守秘義務を楯に公表しないことに疑問に思う。市、自治会、町内会、三日市交番等の連絡を密にし、災害時協力することが必要と思います。是非一考をお願い申し上げます。
- ・高齢者、生活困窮者への支援等、民生委員へのきめ細やかな対応。
- ・生活弱者、障害者に対する支援。
- ・住み慣れた地域で安心して暮らせる福祉ネットワーク作り。
- ・机に向かっては駄目。地域の行事に参加しているボランティアを見て聞く。職員といえども地区の行事には参加して経験を活かしてほしい。
- ・ボランティア等の活動を通じて、地域の仲間づくりがスタートできるような支援
- ・制度や仕組みの制定、人・物・金の供給といったいわゆる与える福祉だけでなく、市民から自発的に活動が起こるような雰囲気づくり、仕掛けづくりにも取り組むべき。また、そういった活動実績の紹介などを積極的に行なうことも必要。啓蒙活動の活発化。
- ・外国人生活者に住みよい共生の地域づくりに向けた日本人住民の啓発活動。
- ・相談しに來られた方々へのサポートの充実。
- ・各地区社協の問題点を収集し、再び各地区社協へ返して、市全体としてのレベルアップのためのリーダーシップをとることが必要。
- ・できるだけ長く在宅で生活できるように必要なサポート体制の構築。家族が出来ること、地域社会がすべきこと、行政がすることを明確にし、個人が自己責任において自立することを自覚できるようにすること。
- ・昨今社会福祉というと老人問題に主眼が置かれがちだが、もう少し子育て世代にも力が分散できればよいと思う。
- ・ボランティア市民活動の拠点を協議会内に設けて欲しい。
- ・各部会のリーダー研修をたくさん行なって欲しい。
- ・介護者の支援＝在宅生活の支援。介護講座や介護者の悩みを聞いたり軽減できるようなサービスの提供。統合的なボランティアの活動・育成など。
- ・福祉予算が十分に価値のあることに活かされること。
- ・介護施設との連携や協力。
- ・施設の増設、受け入れ増、期間の増大。
- ・ホームヘルパーの充実。
- ・福祉センターをよく利用するが、歳を取ると正座がつかなくなるので、もう少し座椅子を増やして頂けると助かる。

★期待すること

- ・地域の特性をふまえた活動を期待します。
- ・福祉のプロ集団として地域に寄り添った、また地域課題から逃げないで真正面から取り組む姿勢を期待。
- ・困ったことがあればどこへ相談すればいいか示してくれる総合相談窓口が社協になってほしい。
- ・福祉のまちづくりを目的とした組織であると思うので、地域に足を運んで現状をみてほしい。
- ・人々の意識向上、社会を楽しく明るくすること。
- ・老人が生きがいを見つけて働いたり、人と関わったりすることで、自分の役割を見つけられるといいなと思う。
- ・子育てしやすい市になったら良い。高齢者に優しい市になったら良い。
- ・活動、事業について、つながり（連携）をより強くしてもらいたい。
- ・民間に先駆けて、あるいは民間の組織では費用対効果等の点でおそろそかになりがちな方面に積極的に力を入れて下さることに期待します。
- ・表紙に書かれているような住みよい黒部市になるように活動して欲しい。
- ・子ども、高齢者、生活困窮者など弱い立場の方の思いに沿った支援。
- ・住みやすい市となることを期待。
- ・市民がより健康に生活できるように支援、公共の場の提供、気軽に頼れる相談の場が充実すること。
- ・見守りネットワークの広がり、見守る人、見守られる人がうまくマッチングできること。
- ・ハード面だけでなく、ソフト面での支援。
- ・介護・医療分野の充実、暮らしやすい街づくりの現実化。
- ・どんな質問にも対処できるよう中核になる事。
- ・職員の効率が向上するように各個人の資質をボトムアップする組織づくり。
- ・地区福祉活動への積極的・能動的提案活動や講習。
- ・地域に密着して溶け込むこと。
- ・住民一人一人のつながりを密にして、支えあう社会の構築に努力されること。
- ・地域全体で見守りネットワークを広めて欲しい。
- ・中央にばかり集中しないで地方にも目を向けて欲しい。
- ・沢山の事業をやっているが、六法の福祉事業が有るがどれが満たされてるか、いないか又参加しない人の意見を吸い上げると良い。
- ・地域の人達のかかわりあいなど（昔より少なくなったから）大変だけど、行事、お祭り（盆踊り、運動会）など。
- ・市役所、介護組合とのネットワークをよくして、市民にそれぞれの働きが見えるように、現在は福祉等について、どこがしているのか、何をしているのか、よく分からないことがある。それぞれ特徴がある分かりやすいシステムであってほしい。
- ・予防健康推進事業
- ・高齢者対策よりもむしろ若年層に重点を置いた活動。高齢者の持つ経験、知恵をもっと積極的に活用する事。（地域力のキーポイント）

- ・福祉はともすれば老人のものと思われがちだが、生きてきた知恵と時間がある。これから担う世代に何を残せるかを一番の目標にして50年先の町づくりの源となって欲しい。
- ・高齢者がもっと集まりやすい方法。例えば潮風へ出られる人たちを多くする方法など。
- ・子供に関する取り組みをもっと広報して欲しい。(支援グループのこと、制度のことなど)
- ・みんなが楽しく交流できるイベントを企画して欲しい。
- ・人材が揃っておられるので、アプローチの工夫を。
- ・正直、あまり市役所との役割がどう違うのかわからないので、社会福祉協議会がこういうことをしてます!というのを見て勉強しようと思いました。このアンケートのおかげです。ありがとうございます。
- ・もっとわかりやすい内容で、アンケートを含め活動をして頂きたい。
- ・一人でも多くの方が福祉について興味、協力を得られるような施策。
- ・各町内会に至るまで細かく公民館で活動をPRできないものだろうか(福祉くろべは読んでいようで読んでいない人が多い)。
- ・地区のボランティアに入る前は、本当に何も知らなかったもので、福祉くろべも会員になってから見る様になりました。若いうちから知る機会があれば良いかな?
- ・いかに子供を増やすか…若い人が生活できるようにする。町に力を入れることも大事であるが、「いなか」を見出し、「住みたい」「暮らしてみたい」、「しくみ」を作っていく。
- ・図書館を広く、綺麗に、明るく。特に子供の絵本コーナーが暗すぎる。子育て支援室の拡大。
- ・図書館、特に個別学習室の拡充。カラーレの個別学習室はテスト期間が近づくとマナーの悪いものを含めた学生でいっぱいになり、大人の学習スペースがない。21時、22時まで開館している大人の図書館を作れば、生涯学習が盛んな黒部市としての売りになる。
- ・高齢者の生きがいの場作りをして下さっていることに感謝。しかし家から福祉センターが遠く、老人が出向くことが困難(車の運転ができない)。地区ごとに生きがいの場があると、通いやすいと思う。
- ・高齢者の介護施設の充実。
- ・学童についての改善。
- ・医療機関と連携し、一人で生活するお年寄りの認知症の早期発見が出来る様にして欲しい。
- ・子供の病後児・病児保育の充実。
- ・見守りやケアネット活動にもっと男性の参加をお願いしたい。
- ・もっと活動費が欲しい。
- ・見守りとケアネットが一体化されて地元活動がより徹底・充実したものになれば良いと思う。
- ・冬期の見守り活動の充実。例えば屋根雪降ろしは個人に頼めないもので、社協に連絡したら、社協で業者をあっせんする。料金は個人払い。
- ・元気な年寄りになることができますが、今後のために歩くことが1番だと思い毎日30分くらいの散歩をしています。しかし、この先のことを考えますとやはり家の近くまでバスを運行して欲しいと思います。
- ・市で主催される講演会に手話通訳及び要約筆記通訳をつけて欲しい。
- ・若い世代への福祉教育をお願いしたい。

- ・少しでも多くの人達がボランティアに参加してきれいな黒部市になりますように。
- ・職員を増やす（ヘルパーさん他）
- ・各校下ごとの活動に積極的に関与し、指導的役割を果たして欲しい。
- ・全ての指導、講話はユーモア、笑いの出来る指導者にしていただきたい。良い話と思っても聞くのが苦痛で心身に良くない。暗い人は職員に向かない。（特に福祉関係）
- ・介護予防で無料料理教室、体操、市民農園など…。
- ・男性にも定年後地区の活動に力を入れて欲しい
- ・行政（特に福祉課）と同じ方針で進めてもらいたい
- ・自治振興会（地区社協）の協力が大切。
- ・ボランティアセンターと福祉センターとの区別がつかない。もっとわかりやすく、「ボランティアセンター」と名称を伝えていくことが大切。福祉センター＝お風呂、老人の集うところと思っている人が多い。
- ・「困っていることは我慢すること」と思っている方が多くおられると思う。色々な集いの場で情報を集め、気持ちが軽くなったり相談が出来る様になれば良い。社協の力で解決できる問題だと思う。
- ・「認知カフェ」設立
- ・どんどん高齢化が進んでいる中で家に閉じこもり気味の者が気軽に好きな時にでかけていけるサロンのような場所があると良い。
- ・ボランティア活動をもっとスリムにし、なるべく多くの人に携わってほしい。同じような団体を1つにしてほしい。
- ・活動について見える化。組織、体制、運営費などについて良く知られていないのでは…。
- ・障害のある人もない人も地域で一緒に活動したり、職場で一緒に働ける社会になるようにしてほしい。
- ・何かあると、民生委員、みまもり員と動くが、この活動をもっと各振興会（町内）でも動ける様にしたらどうだろうか。個人情報のある壁があるので難しいとは思いますが…
- ・地域の福祉推進は公共団体（市含む）だけでできるものではない。市民の自発性や企業からの協力も必要。企業からの具体的な（人、物、金）協力の必要性を理解してもらい、推進活動（具体的な福祉活動を含む）の基盤を固め、活動の多様化を進めて欲しい。企業の参加を進める。
- ・外国人支援など、人数の割合が高くないところでも、支援を必要としているところ・支援することが社会全体にとっても意味のある場合は多いと思う。そのようなところにも目を向けて欲しい。
- ・困ったと声を上げている方々へその時ばかりの相談ではなく、後々の長い期間サポートをし、孤独な人を作らない社会。
- ・あらゆる情報を求めて、自分に適した機能を利用し、健康で豊かな生活が続けられること。
- ・地域の公民館等で病気と医療についてわかりやすく、専門医に開設してもらえる機会を、設けて欲しい。
- ・治安の乱れを100%なくす。住民一人一人が意識向上の呼びかけを行なう。
- ・高齢者のための研修を多く企画して欲しい。

- ・高齢者だけでなく、50代60代世代のリハビリ機能がある施設があるといいと思う。
- ・小さな子供を抱えている。近くに頼れる人のいない、核家族のために何か助けてもらうことはできませんか？
- ・3月で二本垣医院が閉院し、黒部市には小児科医が少なく、子供がちょっと風邪をひいたときなど(市民病院に行くほどではないとき)に連れて行く病院がないので、小児科医対策を。
- ・子ども2人目の保育料の無料化。
- ・子供のインフルエンザ予防接種費用助成。
- ・小さい子供が外出先で遊べるスペースや、子連れで行ける場所をもっと増やして欲しい。
- ・子育て世代が安心できる社会づくりへの貢献。
- ・社協は今まで高齢者や高齢世帯を対象とした活動が中心だったが、子供・子育て世帯で困っていることにも目を向けて欲しい。
- ・学童保育にもっと関わってもらいたい。黒部市全体の学童保育を把握し、支援してくれるところが必要だと思う。
- ・子育てを機に退職したので、再就職支援の場などがあればうれしい。(子連れで相談できると良い。ハローワークは魚津にしかないので)
- ・中央小の学童の指導員の人数が足りず、現職の方への負担が大きい。社会福祉の方面から、地域と関わりたい高齢者の参加を促すことはできないか。(広報など)但し年齢制限は必要かも…

★ご意見・ご感想などご自由にお聞かせください

- ・各種事業が行われているが、広く住民に理解、浸透がされていないのではないかと思います。
- ・福祉協議会さんは、いろんな支援活動を地域のために行なっておられるのに、ほとんどその取り組みについて知りません。実際に問題や悩みが出た時になってやっと解決するために真剣に調べたりして、支援の場の存在を知る事が多いと思う。いざという時のためにも、社協さんの取り組みを普段から気に留め、また世間にはいろんな状況にある人がいるということを知っておきたいと思います。
- ・名前も知っているし広報も届くのにあまり関心がなく、どのような活動をしているのか今ひとつわかりません。
- ・福祉に関する多くの仕事をしてくださっていると思いますが、その内容はあまりわかっていません。子育て中は保健センターなどを利用し、働き盛りの時は、社協さんのことを忘れ、年を取ってくると、ようやく福祉センターのことを思い出してくるような気がします。もっと若い世代の頃より、足が向く、社協さんの役割をPRされると良いと思います。
- ・地域福祉についてまだまだ内容も良くわかっていないし、どういうことをしているか広報くらいでしかわからなくて、ボランティア活動など楽しみがあればやってみたいと思いますが、把握できていなくて認識が薄いのも事実です。こういうアンケートがあつてわかることもあるのでいいと思います。
- ・現在どんな活動をしているのかあまり知らないのもっとPRすることでより多くの地域の方に支援が行き渡るのではないかと思います。
- ・地区社協を住民の皆さんにもっと良く知ってもらって話し易く相談しやすい場所に。
- ・継続は力であるが、各種事業そのものがマンネリ化しているのではと思います。時代・地域が求めているものの把握力が弱い。事業の質を注視した選抜と集中を行なつては？
- ・介護の仕事をしているので、社協さんの存在を理解しているが、周りの友人や知人は認識ないと思う。
- ・PTA活動で子供とボランティアをする機会があればいいと思った。
- ・自分は初めてなのであまりアンケートの質問に答えられないけど、お話はよくわかりよく勉強になりました。訪問先では実行していきたいと思いました。
- ・内容がよくわかりませんでした。ごめんなさい。
- ・申し訳ありません。今まで社協を意識することがありませんでしたので、存在についてもあまり考えませんでした。私自身や家族に問題が起きて色々な社会資源を考えた時に、生活に接する機関であることに気付き、今後関心を深め、参加、利用したいと思っております。
- ・申し訳ありません。現時点で知識もなく、情報もなく、意見や感想を書き記すことかなわず。もっと勉強します。
- ・黒部市の計画、企画など公的施設に閲覧用として配布してある綴りものに目を通したいです。
- ・市職員たちは、「もっと現場を見る」。パソコンだけを見るのではなく自分の目で現実をしっかりと目で聞く。これが今の黒部市職員にかけているように思う。
- ・いろんな年齢の人、いろんな人生をつなげる素晴らしい活動をされていると思います。いつもありがとうございます。

- ・地域の方々のために頑張っておられると思うので、今後も頑張ってもらいたいです。
- ・デマンドタクシー制度が普及していけばよいことかもしれないが、一人暮らしの方がタクシーを利用する際にもっと安く使えるよう補助をできないものでしょうか。
- ・スーパー銭湯が黒部になくて不便。
- ・シニア層の社会貢献率を高める工夫。
- ・社協について全然わからないので書きにくいアンケートだった。もう少しわかりやすくしてもらえるとありがたい。
- ・支援が不足していると思う分野に○をとりましたが、正直あるのに知らないだけかもしれないので、自分が子育てや住まいなど調べた時、他の町と比べなかったものに○をつけました。
- ・今回のアンケートの結果をどのように生かしていくか、どのように生かしたかまで、必ず報告して欲しい。
- ・団体の機能が必要な方全てもれることなく受けられる世の中になってほしい。
- ・自分をもっと福祉について知るべきだと思いました。
- ・市社協＝老人福祉というイメージなので、あまり期待することもなし。今のままでいいと思います。
- ・他の市よりも、育児手当などが少ない気がします。子供が欲しくても金銭的な不安などから子供を増やせない。
- ・保育料が高く、少子化に貢献したくてもためらっています。
- ・保育所ではとても満足しております。しかし小学校になると学童になり、対応して頂く時間も18時までと短時間になりました。ほとんど残業が出来ず、仕事と子育ての両立をきつく感じております。学童は各小学校にまかせているという話を聞きましたが、先生方の人数確保も厳しいとの話もありました。福祉の仕事として、助けていただけないでしょうか。
- ・天気の悪い日に子供を遊ばせることができる施設があるといい。高齢者が話をしたり、お茶を飲んだりできる無料の休憩所などがあると助かる。
- ・小学校の登下校時に見守りして下さる方がいると助かります。仕事を引退した方や、健康なお年寄りの方など地域の方の目があると防犯になると思います。
- ・子供達と一緒に遊んだり話をしたりする場があれば良いと思います。
- ・小学校の貯金箱づくりに参加した際、とても喜んでいたので、毎年続けて欲しい。会費を払っても良いので。
- ・直接的に意見を言えるアンケートが実施されたことはとても良いと思う。市民の声が実現すればなお良い。
- ・広い年齢層からアンケートをとることでより機能・役割の明確化ができニーズに応えられるので良いと思う。
- ・普段暮らしていて医療分野、介護分野、子育て・生きがい分野の機能が不足しているように思う。各施設の充実し、病院・医院（特に小児科）、介護福祉施設、公園などが増えると良い。
- ・診断のついていない認知症の人、障害を疑われる子供たちが少しでも地域で受け入れられやすい環境づくりに少し興味があります。子供たちのための親向け、祖父母向けの子育て教室や、障害の疑いがあった場合の受診しやすい環境、認知症の疑いがある人も受信しやすい環境が地

域でできたら多くの方が住みよくなるのではと思います。

- ・黒部市役所でもっと横のつながりがあれば良い。（“こここのところは違う”ではなく、一緒に考えて聞いてほしい）
- ・住民が集合所を利用しやすいこと。施設が充実していても、外出の意欲がないとダメ。
- ・必要な場（スペース）で「生きがいの場」とありましたが、現状で十分ではないでしょうか。いたずらに場を設けても…。
- ・地域住民との接点が少なく、家族の情報が入ってこない。
- ・黒部市福祉センターと黒部市宇奈月老人福祉センターをひとつにして運営したら良い。
- ・訪問したとき、ありがたい言葉がととてもうれしいです。（民生委員）
- ・1人、2人暮らしの方に、1週間に1回程度食品等の訪問販売をあっせん。（健康等の確認を含めて）
- ・見守りの方の話として、水道料金の高額請求が来ているのに水道局員やメーター調査員が気付かないことは論外です。事業者やボランティアにお願いする前にとくに気が付かなくてはならない事例です。ガッカリしました。気が抜けます。
- ・地域のボランティア活動等に参加していこうと思います。
- ・地域包括支援センター開設は知らなかったです。地域に帰ってなるべく発信していきたいと思いました。昨年より行われた交流会、今回初めて参加しました。とても内容が充実していて、勉強になりました。帰ったらまた引き続き見守り員に精を出していきたいと思いました。
- ・民生委員になって2年余り。社協の皆さんは人間的にも、専門知識においても素晴らしいと思います。大いに期待しています。
- ・行政、社協は指示が多いが民生委員には無理が多い。
- ・最近町内に対する要請が多くなりつつあり、それにこたえられる状況になっていない。
- ・社会福祉協議会の方は、みまもり員の方の訪問を民生委員やケアネット等の人にばかり頼らず、1～2か月に1回くらいは訪問活動をして欲しい。（実際しておられたらごめんなさい）
- ・最近福祉の広報誌もカラーで見やすく、興味を持ちやすくなった。
- ・事業全体として上から目線の事業が多いのではないですか？地域の活動を”育成する”という立場にもとづいて事業を少しでも進めてほしいですね！「福祉くろべ」の文字が小さいし、多すぎて見る気、読みたい気にならない。もう少し、弱者の立場で編集してほしいですね。
- ・核家族化で近所のつながりがうすくなってきていて、少しずつでも地域の助け合いが嫌々ではなく当たり前になるよう社協の力を期待しています。職員のやる気で頑張ってください。
- ・今年度から社会福祉大会には、手話通訳及びスクリーン要約筆記通訳両方の情報保障をつけて欲しい。詳しくは聴覚障害者センターまで（Tel076-441-7331）総合相談の場に各個人のニーズに合ったものに答えられる人が必要。
- ・地域住民が自由に気軽に参加できる事業を考えてほしい。高齢者が外に出れるような事業（ジョギング、観察等）計画を策定していただきたい。
- ・目に見えるかたちでの満足は得られないと思うから地道な活動をしていたら良いと思う。
- ・相談機能の充実といいますが、今後は待っていても来ない世の中になる気がします。民生委員含む情報をつなぐ集約、整理そして返す機能が必要と思います。

- ・さらに市と連携を密にし、市民の福祉を推進してください。
- ・弱者が住みやすい地域になればと願っています。周りの人達が助けあえると良いのではないのでしょうか。
- ・このアンケートを市内全世帯に配布してほしいです。
- ・広報誌で事業をPRしていますが関心を持っている人は何人いるか、協議会を監査する団体が有りますか？世界の福祉国家を見学して下さい。
- ・住宅が増えてきたけどなんだか寂しい地区かなと感じます。
- ・アンケート聞いて少しでも良い黒部市になるようにがんばっておられるのがわかりました。
- ・介護認定を受けている人が退院した時、共働きしている為、家で見れない時の受け入れ先が見つからず困ったことがある。もっと楽に見つかるようにしてほしい。
- ・事業が多すぎる。もっと青少年に力をいれるべき。
- ・ボランティア活動の自由度と自主性の基本の認識を深める事。
- ・高齢者を社会の負とみなさずもっと活躍の場を増やして欲しい。人は誰かに必要とされることが一番心も体も元気になる。人が用意した介護予防ではなく自ら働いて町を良くするボランティア等に参加して生き甲斐を持つ方がよい。ボランティア保険などもっと補助すべきと思う。経費節減で補助金が減り活動の会員にお茶も出せない会もあるとか。
- ・今まで仕事ばかりの日々を過ごしてきました。これからは地域のことに積極的に関わっていきたいと思います。
- ・義母が家で介護が必要になった時、大変お世話になりました。
- ・今後何かにつけ意見を述べます。
- ・高齢者の独り暮らしで家に風呂があるけど怖くて入れなかったり、掃除が出来なくて入ることが出来ないという話しを聞き、そのような方がサービスを受けられるようになれば良いと思う。
- ・自分にできるボランティアに何があるのか知りたい
- ・家族が一緒でも老人一人が孤独…そんな人たちがどうすれば行事に参加してくれるかが問題。
- ・今の政治、全体的に偏りが感じられる。
- ・ボランティアについては、気軽にできる範囲でという気持ちで入っています。その方が長続きすると思うので。
- ・社協が何をしているのかよくわからないが、今さら恥ずかしくて聞けない。
- ・旧小学校が何か福祉活動の役割を担えないかと思う。
- ・自分の現在の生活に社協への不満はないのですが、これから先、体の衰えとともに要望も出てくるかと思います。人生の先輩たちの意見を取り入れて下さい。
- ・介護の件ですが支援2でカリエールに通所していました。都合で欠席しても月額 5,400 円を支払いました。介護2の人は通所した日数分を払っています。カリエールから医療機関に変更したところ週2回のリハビリで月 2,400 円です。来院した分だけの支払いです。この点におかしいと感じる人がたくさんおられますよ。
- ・黒部市の福祉大会は内容がマンネリ化している。ボランティアセンター、以前はあたたかく入りやすい感じがしたが、今の雰囲気は入りにくい。

- ・元氣湧くわく教室に参加している。心と身体が元氣になり、みなさんと話をしながら頑張っている。
- ・ボランティアなどの負担の偏りをなくし、たくさんの人が自分の出来るときに出来ることをもっと気軽に参加できたら。後に続く若い人たちがいないのも心配。
- ・宇奈月中学校跡地を大いに活用して欲しい。市内中心部に集中させず、市内全域を見渡すべきだと思う。
- ・旧宇奈月にあった施設をもっと活用するよう社協でも努めてほしい。
- ・以前ポップサービスというのがあり、とてもよかった。なぜなくなったのでしょうか。
- ・地域の一番身近な公民館に誰もが集えるサロンのような場が作れないのか。
- ・事業内容について、カタカナ表記ではなく、わかりやすい言葉表記で。
- ・地域の福祉のために何がされているかよくわかっていないのが現状。広報誌から興味を持っていろんなことを習得していきたい。主人や私が看護が必要になった時の手続きに不安があり、何から？どこにいつて？とわからないことばかり。
- ・福祉のお金を無駄にせず、有効に使うよう取り組みを考えながらのふり返りもあっていいと思う。
- ・近所で老々介護している方、認知症で困っている人が病院に行くことができないことから、家庭訪問的なことがあればよい。現状をみてもらい相談にのって欲しい
- ・市、センター、各公民館で事業内容の連携、連絡が必要なのではないでしょうか
- ・HP でみれるとあっても、ネットを使えない高齢者もいる。みられTV の行政情報枠に「社協からのお知らせ」として入れられないものだろうか。
- ・振興会、町内会の配りものがあまりに多い。年々増えている。補助金を多くしないと続かない。
- ・広報誌は読まない。各地区で活動報告会をやるべき。
- ・老人が老人介護など勉強するのは無駄。今、老人会のお世話をしているが、1人暮らしの人はしっかりしている人が多い。若いものに頼っている人、金に困っていない人が要注意。家事をしっかりして、友達の多い人、常に頭を使っている人、割に安心。
- ・一人暮らしの方に年2回プレゼントしていますが、基準がはっきりせず、迷ってしまう。
- ・認知症予防に関する日本各地の対策や活動を参考にして黒部市も検討いただきたい。
- ・イベント等は高齢者に向けたものがほとんどで、福祉くろべも興味を持てるものがない。どの世代も興味を持てるものを希望する。
- ・ずいぶん前に高齢者の名前、住所、血液型、連絡方法が書かれたペンダント様式の物を配布していた。現在も始めたらよいと思う。
- ・福祉を享受する側の人達の目線でどんな成果が出ているのかを目に見える形でとらえる工夫が必要。施策や活動と因果関係のありそうないろいろな指導を捉えて、公表することも推進の刺激となる。例：Uターン率、Iターン率、若者の地元定住率、企業の障害者雇用率…いろいろな角度から見る必要がある。
- ・外国人問題は国際交流の分野だけでなく、福祉の観点、日本人側の市民協力の観点からも考えられるべきだと思う。

- ・富山県全域の社会福祉協議会ともネットワークを作ってより良いものにしていけばよいのではないだろうか。
- ・生活していく上で、いつかは必ず災難や病気等自分たちだけで解決できない問題が生じる。その時、安心して相談に乗り対処してもらえる力強い協議会であって欲しい。
- ・福祉先進国に学ぶこともたくさんあると思うので、広報などで紹介して欲しい。ひとり暮らしの方が多くなってきたので、地域社会のきずなを強めていくよう努力したい。先日みまもり員の集いに参加した。「グループ別の話し合い」は少人数で自然な流れで話し合いが出来、よい試みだった。残念だったのは、司会者の方が一方的に自分の説（正しいとは限らない）をまくしたてておられた。なので発言者の思いが伝わってこないことがあった。ぜひ司会者の在り方を学んでほしいと思う。また、せっかくグループで話し合ったことを全部発表する機会がなかったので、記録として残していつかそれを見る機会があれば良いと思う。
- ・私の考えるボランティアは、自分の労力等を無償で提供することだと思う。難しいとは思いますが、もっといろんなところで人の力が必要なことがあると思う。
- ・福祉センターの皆さんは本当に一生懸命頑張っておられる。自分も元気はつらつ体操に参加させてもらっているが、本当に助かっており、楽しく動かして頂いている。
- ・市福祉課との連携がうまくいってないのでは？健康づくりについてどこも同じような施策で受ける側は迷う。助成金の使途内容は細かすぎ、多少の飲食は認めて欲しい。
- ・介護保険や決まりにとらわれずに受けられる支援を増やして欲しい。
- ・社協が本気で福祉を推進していくなら、公民館事務職がこれを受け持つのは無理です。各地区に専門員が入りしっかり取り組むべきです。
- ・育児、高齢者、近所づきあいなど情報をもれずに相談できる場所を具体的に知りたい。

平成 28 年「地域福祉推進の拠点に関するあり方」
について地域支援活動者・ボランティアを中心とした
地域福祉の現状と課題調査

アンケート調査報告書

発 行 平成 28 年 8 月

編集・発行 社会福祉法人 黒部市社会福祉協議会

〒938-0022

富山県黒部市金屋 464 番地の 1

TEL 0765-54-1082 / FAX 0765-52-2797

E-mail kurobesw@ma.mrr.jp